授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名 2 熟語 3 熟語・異字同訓・同音異義 4 誤字訂正・類義語 5 反対語・漢字の意味・使い方 6 項目別模擬試験① 7 項目別模擬試験② 8 項目別模擬試験③ 9 項目別模擬試験④ 10 項目別模擬試験⑤ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 応用漢字の訓読み・送り仮名① 2 応用漢字の訓読み・送り仮名② 3 応用漢字の熟語① 4 応用漢字の熟語② 5 応用漢字の熟語③ 6 応用漢字の異字同訓・同音異義 7 応用漢字の誤字訂正① 8 応用漢字の誤字訂正②・類義語 9 応用漢字の反対語 10 応用漢字の意味・使い方① 11 応用漢字の意味・使い方② 12 応用漢字項目別模擬試験① 13 応用漢字項目別模擬試験② 14 応用漢字直前模擬試験① 15 応用漢字直前模擬試験②
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における科目解答状況にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	面接の入退室および自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己ＰＲ作成① 5 自己ＰＲ作成② 6 自己ＰＲ作成③ 7 自己ＰＲ作成④ 8 自己ＰＲ作成⑤ 9 面接質問項目① 10 面接質問項目② 11 面接質問項目③ 12 病院・企業研究 13 模擬面接練習① 14 模擬面接練習② 15 模擬面接試験
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定にて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	医療キャリアデザインⅠ	
実務家教員授業		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択必修Ａ	
授業方法	講義・演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	医療事務員として仕事をするための心構え・準備内容を理解する	
授業の進め方	テキスト講義と演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	医療事務員として仕事をする意識付け及び自己表現ができるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	医療事務員としての心構え
	2	自己分析
	3	志望動機①
	4	志望動機②
	5	自己ＰＲ作成
	6	作文・小論文①
	7	作文・小論文②
	8	病院研究①
	9	病院研究②
	10	質疑応答①
	11	質疑応答②
	12	自己表現演習①
	13	自己表現演習②
	14	自己表現演習③
	15	自己表現演習④
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況、提出物等で総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療キャリアデザインⅡ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	自己分析を行い、自らの長所、短所を明確にし、表現する
授業の進め方	テキスト講義と演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	自分の長所、短所を理解したうえで、自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己分析見直し① 2 自己分析見直し② 3 自己分析見直し③ 4 自己分析見直し④ 5 自己分析見直し⑤ 6 自己ＰＲ作成① 7 自己ＰＲ作成② 8 自己ＰＲ作成③ 9 自己ＰＲ作成④ 10 自己ＰＲ作成⑤ 11 自己表現演習① 12 自己表現演習② 13 自己表現演習③ 14 自己表現演習④ 15 自己表現演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況、提出物等で総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	患者接遇論概論
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	患者接遇に必要な知識・スキルを身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	実習前に患者接遇に必要なスキルを身に付け、実習で対応できるようにする
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 実習生の心構えとマナー 2 病院業務と実習日誌 3 聞く姿勢と言葉遣い 4 質問・メモの取り方 5 自分からの行動 6 指示・アドバイスを受ける 7 トラブル応対 8 受付応対 9 医事コンピューターの使い方 10 電話応対 11 病院研究 12 病院見学 13 病院での一日の流れ 14 実習先の電話連絡 15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	実技による効果測定にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療請求事務基礎Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務（外来）の基礎知識を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 医療保険制度、医療保険の給付 2 医療事務の仕事、カルテ・レセプトの上書き 3 初診料 4 初診料レセプト記載法 5 再診料① 6 再診料② 7 再診料レセプト記載法 8 医学管理等 9 医学管理等レセプト記載法 10 投薬料① 11 投薬料② 12 投薬料③ 13 投薬料レセプト記載法 14 注射料① 15 注射料② 16 注射料レセプト記載法 17 処置料 18 処置料レセプト記載法 19 手術料① 20 手術料② 21 手術料レセプト記載法 22 検査料① 23 検査料② 24 検査料③ 25 検査料④ 26 検査料レセプト記載法 27 画像診断料① 28 画像診断料② 29 画像診断料レセプト記載法 30 処方せん料、処方せん料レセプト記載法
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験、講義後のチェックテストの解答状況にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実務基礎Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療秘書における基礎的な知識を理解する
教科書	医療秘書（株式会社メディカルエデュケーション）
特記	
授業計画	1 日本の医療制度と特徴（医療秘書） 2 病院の組織と運営（医療秘書） 3 医療秘書の仕事と役割（医療秘書） 4 求められる人物像（医療秘書） 5 医療サービスと接遇（医療秘書） 6 患者応対の基本（医療秘書） 7 患者応対の応用（医療秘書） 8 敬語について（医療秘書） 9 ビジネス文書と文書作成（医療秘書） 10 院外文書の作成（医療秘書） 11 院内文書の作成（医療秘書） 12 復習（医療秘書）① 13 復習（医療秘書）② 14 復習（医療秘書）③ 15 総合演習（医療秘書）① 16 総合演習（医療秘書）② 17 総合演習（医療秘書）③ 18 総合演習（医療秘書）④ 19 医療漢字① 20 医療漢字② 21 医療漢字③ 22 医療漢字④ 23 医療漢字⑤ 24 医療漢字⑥ 25 医療略語① 26 医療略語② 27 医療略語③ 28 医療略語④ 29 医療略語⑤ 30 医療用語復習
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実践Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	受付での患者応対マナーや対応方法（挨拶～初診受付）を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	医療事務員として初診の受付応対ができる
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社） オリジナル資料
特記	
授業計画	1　社会人としてのマナー（言葉遣い、態度） 2　社会人としてのマナー（表情、アイコンタクト） 3　社会人としてのマナー（挨拶、お辞儀） 4　社会人としてのマナー（挨拶の基本フレーズ） 5　立ち居振る舞い、聞く・聴く 6　初診受付の流れ 7　初診受付基本応対 8　確認テスト 9　医療者としてのマナー（自然な声掛け、聴く姿勢） 10　カルテの上書き 11　初診受付の一連の流れ 12　初診受付　実技演習① 13　初診受付　実技演習② 14　初診受付　効果測定① 15　初診受付　効果測定②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技・筆記等による効果測定により評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナーⅡ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修Ｂ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い 2 職場のマナー 3 仕事の進め方 4 報告、連絡、相談 5 挨拶 6 笑顔、お辞儀 7.8 敬語 9～10 応対の基本 11～13 電話応対 14～15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ITキャリアデザインⅠ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	就職活動に関する基礎知識について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習
達成目標	就職活動に関する基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 就職ガイダンス 2 自己分析Ⅰ 3 自己分析Ⅱ 4 自己分析Ⅲ 5 就活マナー 6 筆記試験対策 7 WEB選考対策 8 インターンシップの基礎知識 9 業界研究Ⅰ 10 業界研究Ⅱ 11 仕事研究Ⅰ 12 仕事研究Ⅱ 13 自己PR作成 14 SPI対策 15 CAB対策
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100%　授業内で取り組む提出課題で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITキャリアデザインⅡ			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択必修Ｂ			
授業方法	講義			
授業時間	６０時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	就職活動に関する適性試験や面接試験対策について学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と実技的な演習			
達成目標	適性試験や面接試験に関する知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	履歴書作成	31	
	2	履歴書作成	32	
	3	履歴書作成	33	
	4	業界研究、職種研究	34	
	5	業界研究、職種研究	35	
	6	業界研究、職種研究	36	
	7	志望動機作成	37	
	8	志望動機作成	38	
	9	入退室方法の確認	39	
	10	面接トレーニング	40	
	11	面接トレーニング	41	
	12	面接トレーニング	42	
	13	面接試験における質問研究	43	
	14	面接試験における質問研究	44	
	15	エントリーシート作成	45	
	16	面接トレーニング	46	
	17	面接トレーニング	47	
	18	面接トレーニング	48	
	19	電子メールでの連絡方法	49	
	20	電子メールでの連絡演習	50	
	21	電話でのアポイントメント	51	
	22	電話でのアポイントメント演習	52	
	23	就職活動における自己管理	53	
	24	就職活動システムの利用方法	54	
	25	SPI対策、CAB対策	55	
	26	SPI対策、CAB対策	56	
	27	SPI対策、CAB対策	57	
	28	面接トレーニング	58	
	29	面接トレーニング	59	
	30	効果測定	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100%　授業内で取り組む提出課題で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識Ⅰ			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択必修Ｂ			
授業方法	講義			
授業時間	９０時間			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	IT基礎知識（テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と演習			
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ハードウェアⅠ	31	セキュリティ、システム構成要素
	2	基礎理論	32	システム構成要素
	3	問題演習・解説	33	問題演習・解説
	4	基礎理論	34	システム構成要素
	5	基礎理論	35	マルチメディア
	6	問題演習・解説	36	問題演習・解説
	7	ハードウェアⅡ	37	システム開発
	8	ハードウェアⅡ	38	システム開発
	9	問題演習・解説	39	問題演習・解説
	10	ハードウェアⅡ	40	マネジメント
	11	ソフトウェア	41	マネジメント
	12	問題演習・解説	42	問題演習・解説
	13	ソフトウェア	43	ストラテジ
	14	ソフトウェア	44	ストラテジ
	15	問題演習・解説	45	問題演習・解説
	16	ソフトウェア、アルゴリズム	46	
	17	アルゴリズム	47	
	18	問題演習・解説	48	
	19	アルゴリズム	49	
	20	データベース	50	
	21	問題演習・解説	51	
	22	データベース	52	
	23	データベース	53	
	24	問題演習・解説	54	
	25	ネットワーク	55	
	26	ネットワーク	56	
	27	問題演習・解説	57	
	28	セキュリティ	58	
	29	セキュリティ	59	
	30	問題演習・解説	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%　授業内でのチェックテストで評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択必修Ｂ			
授業方法	演習			
授業時間	９０時間			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	IT基礎知識（テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ			
授業の進め方	問題演習による試験対策			
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深め、基本情報技術者試験の午前試験問題に正答できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	項目別問題演習　テクノロジⅠ	31	総合問題演習Ⅴ
	2	項目別問題演習　テクノロジⅠ	32	総合問題演習Ⅴ
	3	項目別問題演習【解説】	33	総合問題演習【解説】
	4	項目別問題演習　テクノロジⅡ	34	総合問題演習Ⅵ
	5	項目別問題演習　テクノロジⅡ	35	総合問題演習Ⅵ
	6	項目別問題演習【解説】	36	総合問題演習【解説】
	7	項目別問題演習　テクノロジⅢ	37	試験直前問題演習Ⅰ
	8	項目別問題演習　テクノロジⅢ	38	試験直前問題演習Ⅰ
	9	項目別問題演習【解説】	39	試験直前問題演習【解説】
	10	項目別問題演習　テクノロジⅣ	40	試験直前問題演習Ⅱ
	11	項目別問題演習　テクノロジⅣ	41	試験直前問題演習Ⅱ
	12	項目別問題演習【解説】	42	試験直前問題演習【解説】
	13	項目別問題演習　マネジメント	43	試験直前問題演習Ⅲ
	14	項目別問題演習　マネジメント	44	試験直前問題演習Ⅲ
	15	項目別問題演習【解説】	45	試験直前問題演習【解説】
	16	項目別問題演習　ストラテジ	46	
	17	項目別問題演習　ストラテジ	47	
	18	項目別問題演習【解説】	48	
	19	総合問題演習Ⅰ	49	
	20	総合問題演習Ⅰ	50	
	21	総合問題演習【解説】	51	
	22	総合問題演習Ⅱ	52	
	23	総合問題演習Ⅱ	53	
	24	総合問題演習【解説】	54	
	25	総合問題演習Ⅲ	55	
	26	総合問題演習Ⅲ	56	
	27	総合問題演習【解説】	57	
	28	総合問題演習Ⅳ	58	
	29	総合問題演習Ⅳ	59	
	30	総合問題演習【解説】	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	提出物評価100%　授業内で取り組む提出課題で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育実習Ⅰ②
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ｃ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目）
授業時間	８０時間
授業コマ数	10コマ
授業概要	児童福祉施設等の生活に参画し、観察や子どもとのかかわりを通して子どもへの理解を深める。子どもの心身の状況に応じた対応、生活環境への理解を深め、専門職としての保育士の役割と倫理を学ぶ。また、実習を通して支援計画、記録の重要性を理解する。
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ.
達成目標	児童福祉施設等での実習を通して子どもの保育及び保護者支援について総合的に理解する。 保育計画、観察、記録、評価について理解する。
教科書	施設実習簿
特記	各企業に依頼して実施。各企業と事前確認を行い明確な課題を設けながら実習を行う。
授業計画	1 観察実習 2 観察実習 3 観察実習 4 参加実習 5 参加実習 6 参加実習 7 参加実習 8 参加実習 9 参加実習 10 指導・支援実習 【保育実習Ⅰ②で学習する内容の詳細】 1. 施設の役割と機能 （1）施設における子どもの生活と保育士の支援や関わり （2）施設の役割と機能 2. 子ども理解 （1）子どもの観察とその記録 （2）個々の状態に応じた援助やかかわり 3. 施設における子どもの生活と環境 （1）計画に基づく活動や援助 （2）子どもの心身の状態に応じた対応 （3）子どもの活動と生活と環境 （4）健康管理、安全対策の理解 4. 計画と記録 （1）支援計画の理解と活用 （2）記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と倫理 （1）保育士の業務内容 （2）職員間の役割分担や連携 （3）保育士の役割と職業倫理
成績評価方法 （試験実施方法）	実習内容・実習簿評価により評価する。６０点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育実習指導Ⅰ②
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保育実習指導Ⅰ①を踏まえ、児童福祉施設実習に対する基本的な事項の確認と新たな実習課題の決定、課題達成に必要な準備を行なう。また、事後指導としては、実習体験に基づきグループ討議等を行い、施設に対する認識を深めると同時に、実習態度を振り返り、改善すべき点を見出す。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。
達成目標	保育実習の意義を理解し、実習に向けての目標設定を行う。 実習の計画、実践、観察、記録、評価について理解し、自信をもって実習に取り組めるようにする。
教科書	施設実習簿
特記	
授業計画	1 保育実習の意義・目的 2 児童福祉施設における実習内容の理解 3 児童福祉施設実習へ向けての課題 4 実習における子どもの人権と最善の利益 5 実習におけるプライバシー保護と守秘義務 6 実習マナー① 7 実習マナー② 8 実習計画について 9 実習計画に基づく保育実践 10 実習日誌の記録の取り方① 11 実習日誌の記録の取り方② 12 実習日誌の記録の取り方③ 13 復習（目的・課題・マナー・日誌） 14 事後指導（総括・反省・自己評価） 15 事後指導（課題・学習目標）
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択必修Ｃ	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目）	
授業時間	８０時間	
授業コマ数	１０コマ	
授業概要	保育所において、更に乳幼児への理解、保育士の職務、関連職員との連携等への理解を深める。実習では参加実習や部分実習、指導実習の段階を経て実践力を身につけ、責任実習を行なう。保育計画と指導計画、日案の理解と実践、乳幼児保育の担当、保育士としての役割･技術などを習得する。	
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ.	
達成目標	保育実習Ⅰの保育実践及び振り返りを踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に理解する。また、保育計画、観察、記録、評価について理解する。	
教科書	保育実習簿	
特記	各企業に依頼して実施。各企業と事前確認を行い明確な課題を設けながら実習を行う。	
授業計画	1	参加・部分実習
	2	参加・部分実習
	3	参加・部分実習
	4	参加・部分実習
	5	責任実習
	6	参加・部分実習
	7	参加・部分実習
	8	参加・部分実習
	9	参加・部分実習
	10	責任実習
		【保育実習Ⅱで学習する内容の詳細】 （1）子どもの心身の状態や活動の観察 （2）保育士等の動きや実践の観察 （3）保育所の生活の流れや展開の把握 3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 （1）環境を通して行う保育、生活や遊びを通しての総合的に行う保育の理解 （2）入所している子どもの保護者支援及び地域の子育て家庭への支援 （3）地域社会との連携 4. 指導計画の作成、実践、観察、記録、評価 （1）保育過程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 （2）作成した指導計画に基づく保育実践と評価 5. 保育士の業務と職業倫理 （1）多様な保育の展開と保育士の業務 （2）多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6. 自己の課題の明確化
成績評価方法 （試験実施方法）	実習内容・実習簿評価により評価する。６０点以上を合格とする。	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保育実習Ⅰ②や保育実習指導Ⅰ②含むその他の教科で学習したことを基盤に児童福祉施設における保育・養護・療育に関する知識を高め、保育実践力を養う。また、保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について実践や事例を通して学習し、保育士の専門性と職業倫理について理解するとともに、実習の事後指導を通して自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。
達成目標	保育実習の意義を再度確認し、保育実習Ⅰの反省を踏まえ、保育実践力の向上を図る。 実習の総括・自己評価により、保育に対する課題や認識を明確化する。
教科書	保育実習簿
特記	
授業計画	1　復習（保育実習の概要。意義・目的） 2　実習へ向けての自己課題設定 3　保育士の専門性を踏まえた実習について 4　保育士の職業倫理についての理解 5　事例：子どもの状態に応じた適切なかかわり① 6　事例：子どもの状態に応じた適切なかかわり② 7　事例：子どもの状態に応じた適切なかかわり③ 8　保育表現技術の実践① 9　保育表現技術の実践② 10　実習計画案作成① 11　実習計画案作成② 12　実習日誌の記録の取り方 13　復習（事例、計画案、日誌） 14　事後指導（総括・反省・自己評価） 15　事後指導（課題・学習目標）
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	乳児保育Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳児保育の意義・目的と歴史的変遷、保育所・乳児院・家庭の現状を把握し、それらの果たす役割、担当する保育者としての役割を理解する。事例をもとに、保育士として必要な乳児保育の理論・知識、乳児期における大人の役割等を理解し保育現場での具体的課題を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。
達成目標	乳児期における発育・発達を理解し、技術を習得する。
教科書	はじめて学ぶ乳児保育
特記	
授業計画	1 乳児保育の理念と歴史、役割 2 保育所における乳児保育の現状と課題 3 児童福祉施設（乳児院等）における乳児保育の現状と課題 4 家庭的保育・小規模保育等における乳児保育の現状と課題 5 身体的発達に関する視点「健やかに伸び伸びと育つ」 6 社会的発達に関する視点「身近な人と気持ちが通じ合う」 7 情緒的発達に関する視点「身近なものと関わり完成が育つ」 8 乳児期の環境と人間関係 9 乳児期の全体的な計画と指導計画① 10 乳児期の全体的な計画と指導計画② 11 乳児保育の保育技術①　食事　沐浴 12 乳児保育の保育技術②　排泄 13 職員間の連動・協働 14 保護者との連携・協働 15 自治体や地域の関係機関との連携・協働
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	子どもの健康と安全
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択必修Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ感染症対策や体調不良等に対する対応方法、衛生管理並びに安全管理等を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る.
達成目標	子どもの健康、事故予防、疾病対策、安全管理について理解する。
教科書	第7巻　子どもの健康と安全
特記	
授業計画	1 子どもの健康と保育にかかわる保健活動 2 子どもの健康観察方法① 3 子どもの健康観察方法② 4 心身の発育・発達を促す保健活動 5 心身の発育・発達を促す環境 6 心の健康問題や地域保健活動 7 健康観察、小児の生理機能の総まとめ 8 事故防止及び健康安全管理　事故 9 事故防止及び健康安全管理　集団傾向 10 救急蘇生法の種類と概要 11 子どもの一時救命処置 12 応急手当ての方法 13 感染症の予防と対策① 14 感染症の予防と対策② 15 子どもの健康及び安全の管理に関する社会的資源との連携
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育実践演習
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保育に関する教科目及び保育実習等の経験を踏まえ、自らの学びを振り返る。グループ討議や研究発表形式により様々な視点から今後の保育の課題等について学習すると同時に、自己の課題を明確にし、目指す保育士像や今後に向けた自己の取り組みについて考える。
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と志向の定着を図る。
達成目標	保育に関する総合的な知識・技術を習得する。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 保育士の意義と役割、職務内容 2 保育士の役割に基づいた活動とは① 3 保育内容等の指導力について 4 行事運営のポイントと留意点 5 行事運営の計画① 6 行事運営の準備物について 7 行事運営の準備物作成① 8 保育士の社会性、対人関係能力、児童理解について（グループ討議） 9 お便り作成① 10 保育士の手作業実践 11 保護者会について（講義） 12 模擬保護者会 13 行事運営（講義） 14 行事運営①（作業） 15 保育士の資質能力の確認・まとめ
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	音楽表現Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修Ｃ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	音楽やリズムを身体を通して感じ、考え、音楽表現に必要な技術とその方法論の基礎を学ぶ。また、保育の現場で活用する手遊びや歌遊び、身体創作表現など具体的な教材を通して、表現意欲を養い、創造性を豊かに実践力のある保育者としての資質能力を形成する。
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。
達成目標	ピアノを使ったリズム遊びを習得し、保育現場で実践できる。
教科書	音楽（理論） レポート設題集
特記	音楽教室または高校等での指導経験のある講師を招き、基礎から応用まで実践的な指導を行う。
授業計画	1 基礎リズムのリズム打ちとステップ① 2 基礎リズムのリズム打ちとステップ② 3 基礎リズム、音への即時反応① 4 基礎リズム、音への即時反応② 5 模倣活動を通して音の強弱を意識する① 6 模倣活動を通して音の強弱を意識する② 7 リズム、フレーズを認識する① 8 リズム、フレーズを認識する② 9 イメージによる身体表現 10 教材研究①（手遊び歌、童謡、教具） 11 教材研究②（指導案の作成） 12 教材研究③（使用教材作成） 13 課題研究① 14 課題研究② 15 課題発表
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療請求事務基礎Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	医療請求事務基礎Ⅰで学んだ知識を踏まえ、学科知識、レセプト知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務（外来）の学科知識、レセプト知識を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 初・再診料（学科対策） 2 医学管理料（学科対策） 3 在宅医療料（学科対策） 4 検査料（学科対策） 5 その他（学科対策） 6 初・再診料（レセプト問題①） 7 初・再診料（レセプト問題②） 8 初・再診料（レセプト総合問題①） 9 初・再診料（レセプト総合問題②） 10 医学管理料（レセプト問題①） 11 医学管理料（レセプト問題②） 12 医学管理料（レセプト総合問題①） 13 医学管理料（レセプト総合問題②） 14 学科・レセプト応用問題① 15 学科・レセプト応用問題②
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療請求事務基礎演習
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（外来レセプト）を作成するための総合演習を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	様々な症例の診療録（カルテ）から外来の明細書（レセプト）の作成ができる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 レセプト項目別問題① 2 レセプト項目別問題② 3 レセプト項目別問題③ 4 レセプト項目別問題④ 5 レセプト項目別問題⑤ 6 レセプト項目別総合問題 7 レセプト基礎問題① 8 レセプトフォロー基礎問題① 9 レセプト基礎問題② 10 レセプトフォロー基礎問題② 11 レセプト基礎問題③ 12 レセプトフォロー基礎問題③ 13 レセプト基礎問題④ 14 レセプトフォロー基礎問題④ 15 レセプト基礎問題⑤ 16 レセプトフォロー基礎問題⑤ 17 レセプト基礎総合問題 18 レセプト応用問題① 19 レセプトフォロー応用問題① 20 レセプト応用問題② 21 レセプトフォロー応用問題② 22 レセプト応用問題③ 23 レセプトフォロー応用問題③ 24 レセプト応用問題④ 25 レセプトフォロー応用問題④ 26 レセプト応用問題⑤ 27 レセプトフォロー応用問題⑤

	28	レセプト応用総合問題
	29	レセプト最終確認直前問題①
	30	レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	検定形式の解答力を測定する試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療請求事務応用Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（入院レセプト）を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務（入院）の応用知識を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 初・再診料等の復習 2 入院料 3 入院料レセプト記載法 4 入院基本料等加算①、入院時食事療養費 5 入院基本料等加算②、入院時食事療養費レセプト記載法 6 投薬料、投薬料レセプト記載法 7 注射料、注射料レセプト記載法 8 レセプト総合演習① 9 処置料① 10 処置料② 11 処置料レセプト記載法 12 手術料① 13 手術料② 14 手術料レセプト記載法 15 麻酔料①、神経ブロック料 16 麻酔料②、神経ブロック料レセプト記載法 17 検査料① 18 検査料② 19 検査料③ 20 検査料レセプト記載法 21 レセプト総合演習② 22 画像診断料 23 画像診断料レセプト記載法 24 医学管理等 25 医学管理等レセプト記載法 26 リハビリテーション料、精神科専門療法料、放射線治療、処方箋料レセプト記載法 27 公費負担医療制度 28 レセプト総合演習③

	29 30	レセプト総合演習④ レセプト総合演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの解答状況にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療請求事務応用Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	医療請求事務応用Ⅰで学んだ知識を踏まえ、学科知識、レセプト知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務（入院）の学科知識、レセプト知識を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 投薬・注射料（学科対策） 2 リハビリテーション料（学科対策） 3 精神科専門療法料（学科対策） 4 総合実技演習（外来レセプト①） 5 処置料（学科対策） 6 手術・麻酔料（学科対策） 7 総合実技演習（外来レセプト②） 8 放射線治療（学科対策） 9 入院料等（学科対策） 10 総合実技演習（入院レセプト） 11 過去問題対策① 12 過去問題対策② 13 過去問題対策③ 14 過去問題対策④ 15 過去問題対策⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療請求事務応用演習
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（入院レセプト）を作成するための総合演習を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	様々な症例の診療録（カルテ）から入院の明細書（レセプト）の作成ができる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 レセプト項目別問題① 2 レセプト項目別問題② 3 レセプト項目別問題③ 4 レセプト基礎問題① 5 レセプト基礎問題② 6 レセプト基礎問題③ 7 レセプト基礎問題④ 8 レセプト基礎問題⑤ 9 レセプト応用問題① 10 レセプト応用問題② 11 レセプト応用問題③ 12 レセプト応用問題④ 13 レセプト応用問題⑤ 14 レセプト最終確認直前問題① 15 レセプト最終確認直前問題②
成績評価方法 (試験実施方法)	検定形式の解答力を測定する試験にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実務基礎Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	関連法規と基礎医学を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	関連法規と基礎医学における基礎的な知識を理解する
教科書	改訂　医療関連法規（建帛社） ＤＭＴ（株式会社 薬ゼミ情報教育センター）
特記	
授業計画	1 健康保険法（関連法規） 2 保険の種類（関連法規） 3 療養の給付および入院食事療養費など（関連法規） 4 保険給付（関連法規） 5 日雇特例被保険者制度（関連法規） 6 船員保険法（関連法規） 7 各種共済組合法（関連法規） 8 国民健康保険法（関連法規） 9 高額療養費支給制度（関連法規） 10 復習（関連法規） 11 脳、眼科（基礎医学） 12 神経系（基礎医学） 13 耳鼻咽喉科、循環器科（基礎医学） 14 循環器科、皮膚（基礎医学） 15 復習（基礎医学）
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実務基礎演習
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	医療秘書、関連法規、基礎医学の理解を深める
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基礎演習解説 2 基礎演習① 3 基礎演習② 4 基礎演習③ 5 基礎演習④ 6 基礎演習⑤ 7 基礎演習復習 8 直前演習解説 9 直前演習① 10 直前演習② 11 直前演習③ 12 直前演習④ 13 直前演習⑤ 14 直前演習復習 15 最終確認問題
成績評価方法 （試験実施方法）	検定形式の解答力を測定する試験にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実践Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	受付での患者応対マナーや対応方法（会計、再診受付まで）を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	医療事務員として会計、最新の受付応対ができる
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社） 配布プリント・資料
特記	
授業計画	1　身だしなみ（服装、髪型） 2　身だしなみ（メイク）、挨拶① 3　訊く、質問、メモの取り方① 4　他己紹介、メモの取り方② 5　好感度アップ、挨拶② 6　指示アドバイスを受ける 7　報告・連絡・相談 8　電話応対①（内線） 9　電話応対②（内線） 10　個人情報への配慮 11　守秘義務規定 12　医療機関での個人情報にあたる書類の確認 13　医療費の支払いに関する配慮 14　お釣りの計算① 15　お釣りの計算② 16　会計受付 17　会計受付ロールプレイング① 18　会計受付ロールプレイング② 19　確認テスト 20　再診受付 21　再診受付ロールプレイング① 22　再診受付ロールプレイング② 23　再診・会計実技演習① 24　再診・会計実技演習② 25　再診・会計実技演習③ 26　再診・会計実技演習④ 27　再診・会計効果測定①

	28	再診・会計効果測定②
	29	再診・会計効果測定③
	30	再診・会計効果測定④
成績評価方法 (試験実施方法)	実技・筆記等による効果測定により評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	診療報酬基礎
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加えて必要に応じて復習を行い、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬項目別基礎演習① 2 診療報酬項目別基礎演習② 3 診療報酬項目別基礎演習③ 4 診療報酬項目別基礎演習④ 5 診療報酬項目別基礎演習⑤ 6 診療報酬項目別基礎演習⑥ 7 診療報酬項目別基礎演習⑦ 8 診療報酬項目別基礎演習⑧ 9 診療報酬項目別基礎演習⑨ 10 診療報酬項目別基礎演習⑩ 11 診療報酬項目別基礎演習⑪ 12 診療報酬項目別基礎演習⑫ 13 診療報酬項目別基礎演習⑬ 14 診療報酬項目別基礎演習⑭ 15 診療報酬項目別基礎演習⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医薬品知識
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	医薬品の取り扱いに関する基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医薬品の種類、保管方法等について理解する
教科書	調剤指針（薬事日報社）
特記	
授業計画	1 調剤の概念 2 調剤の実践 3 薬物療法と薬物 4 薬効に影響を及ぼす要因 5 薬物の投与経路 6 調剤の実際 7 処方監査 8 疑義照会 9 製剤各論①（経口投与薬） 10 製剤各論②（外用薬） 11 製剤各論③（注射薬・点鼻薬・点眼薬） 12 製剤各論④（麻薬・向精神薬・覚せい剤原料） 13 薬剤の交付 14 薬剤服用歴の管理 15 医薬品の在庫・品質管理
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験、講義後のチェックテストの解答状況にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	調剤報酬請求事務
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	処方箋から明細書（レセプト）を作成するための基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	調剤報酬における請求事務の基礎を理解する
教科書	オリジナル資料
特記	
授業計画	1 調剤基本料① 2 調剤基本料② 3 レセプト記載方法① 4 調剤料① 5 調剤料② 6 調剤料③ 7 レセプト記載方法② 8 総合問題演習① 9 薬剤料の計算方法（内服薬）① 10 薬剤料の計算方法（内服薬）② 11 レセプト記載方法③ 12 総合問題演習② 13 薬剤料の計算方法（頓服薬）① 14 薬剤料の計算方法（頓服薬）② 15 レセプト記載方法④ 16 薬剤料の計算方法（外用薬）① 17 薬剤料の計算方法（外用薬）② 18 レセプト記載方法⑤ 19 総合問題演習③ 20 総合問題演習④ 21 薬学管理料① 22 薬学管理料② 23 レセプトの記載方法⑥ 24 総合問題演習⑤ 25 総合問題演習⑥ 26 複数枚の処方箋の算定方法① 27 複数枚の処方箋の算定方法② 28 総合問題演習⑦ 29 総合問題演習⑧ 30 総合問題演習⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験、講義後のチェックテストの解答状況にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	調剤報酬請求事務演習
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	処方箋から明細書（レセプト）を作成するための演習を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	調剤報酬における請求事務を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 レセプト基礎問題① 2 レセプト基礎問題② 3 レセプト基礎問題③ 4 レセプト基礎問題④ 5 レセプト基礎問題⑤ 6 レセプト応用問題① 7 レセプトフォロー応用問題① 8 レセプト応用問題② 9 レセプトフォロー応用問題② 10 レセプト応用問題③ 11 レセプトフォロー応用問題③ 12 レセプト応用問題④ 13 レセプトフォロー応用問題④ 14 レセプト応用問題⑤ 15 レセプトフォロー応用問題⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	検定形式の解答力を測定する試験にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ⅰ
実務家教員授業	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	保険医療機関等で医療事務員として必要な基礎知識を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	病院内で行う医療事務の職業内容を理解する
教科書	実習日誌
特記	総合病院などに勤務している現役医療事務員から、患者案内や受付応対、医事課業務のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	1 現場実習Ⅰ（院内オリエンテーション）① 2 現場実習Ⅰ（院内オリエンテーション）② 3 現場実習Ⅰ（病院概要）① 4 現場実習Ⅰ（病院概要）② 5 現場実習Ⅰ（病院概要）③ 6 現場実習Ⅰ（病院概要）④ 7 現場実習Ⅰ（カルテ管理）① 8 現場実習Ⅰ（カルテ管理）② 9 現場実習Ⅰ（カルテ管理）③ 10 現場実習Ⅰ（カルテ管理）④ 11 現場実習Ⅰ（カルテ管理）⑤ 12 現場実習Ⅰ（カルテ管理）⑥ 13 現場実習Ⅰ（カルテ管理）⑦ 14 現場実習Ⅰ（カルテ管理）⑧ 15 現場実習Ⅰ（医事課業務）① 16 現場実習Ⅰ（医事課業務）② 17 現場実習Ⅰ（医事課業務）③ 18 現場実習Ⅰ（医事課業務）④ 19 現場実習Ⅰ（医事課業務）⑤ 20 現場実習Ⅰ（医事課業務）⑥ 21 現場実習Ⅰ（医事課業務）⑦ 22 現場実習Ⅰ（医事課業務）⑧ 23 現場実習Ⅰ（外来クラーク）① 24 現場実習Ⅰ（外来クラーク）② 25 現場実習Ⅰ（外来クラーク）③ 26 現場実習Ⅰ（外来クラーク）④ 27 現場実習Ⅰ（外来クラーク）⑤

	28 29 30	現場実習Ⅰ（外来クラーク）⑥ 現場実習Ⅰ（外来クラーク）⑦ 現場実習Ⅰ（外来クラーク）⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ⅱ
実務家教員授業	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	保険医療機関等で医療事務員として必要な患者応対を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	医療事務員としての役割、業務内容を理解し、患者に対し、適切な言葉遣いで対応する
教科書	実習日誌
特記	総合病院などに勤務している現役医療事務員から、患者案内や受付応対、医事課業務のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	1 現場実習Ⅱ（院内オリエンテーション）① 2 現場実習Ⅱ（院内オリエンテーション）② 3 現場実習Ⅱ（病院概要）① 4 現場実習Ⅱ（病院概要）② 5 現場実習Ⅱ（病院概要）③ 6 現場実習Ⅱ（病院概要）④ 7 現場実習Ⅱ（患者案内）① 8 現場実習Ⅱ（患者案内）② 9 現場実習Ⅱ（患者案内）③ 10 現場実習Ⅱ（患者案内）④ 11 現場実習Ⅱ（患者案内）⑤ 12 現場実習Ⅱ（患者案内）⑥ 13 現場実習Ⅱ（患者案内）⑦ 14 現場実習Ⅱ（患者案内）⑧ 15 現場実習Ⅱ（各診療科受付）① 16 現場実習Ⅱ（各診療科受付）② 17 現場実習Ⅱ（各診療科受付）③ 18 現場実習Ⅱ（各診療科受付）④ 19 現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑤ 20 現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑥ 21 現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑦ 22 現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑧ 23 現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑨ 24 現場実習Ⅱ（各診療科受付）⑩ 25 現場実習Ⅱ（病棟クラーク）① 26 現場実習Ⅱ（病棟クラーク）② 27 現場実習Ⅱ（病棟クラーク）③

	28 29 30	現場実習Ⅱ（病棟クラーク）④ 現場実習Ⅱ（病棟クラーク）⑤ 現場実習Ⅱ（病棟クラーク）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	施設評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価する	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院研究
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	病院就職に必要な知識やスキルを身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	病院の研究を行い自身の強みと照らし合わせ、それを表現することができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 病院研究の流れ 2 病院の理念、概要 3 施設基準について 4 病院見学① 5 病院見学② 6 病院見学③ 7 病院見学④ 8 病院見学⑤ 9 病院研究レポート① 10 病院研究レポート② 11 病院研究レポート③ 12 病院研究レポート④ 13 病院研究レポート⑤ 14 業界研究① 15 業界研究②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	電卓技能の向上を目的とする。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電卓の使い方、端数の取り扱い 2 電卓演習① 3 電卓演習② 4 電卓演習③ 5 電卓演習④ 6 電卓演習⑤ 7 電卓演習⑥ 8 電卓演習⑦ 9 電卓演習⑧ 10 電卓演習⑨ 11 電卓演習⑩ 12 電卓演習⑪ 13 電卓演習⑫ 14 確認テスト① 15 確認テスト②
成績評価方法 (試験実施方法)	科目習熟度を測定するテストにて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療キャリアデザインⅢ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	医療事務員としての自己表現力を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	医療事務員として自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 質疑応答作成① 2 質疑応答作成② 3 質疑応答作成③ 4 質疑応答作成④ 5 質疑応答作成⑤ 6 質疑応答作成⑥ 7 質疑応答作成⑦ 8 質疑応答作成⑧ 9 質疑応答作成⑨ 10 質疑応答作成⑩ 11 自己表現演習① 12 自己表現演習② 13 自己表現演習③ 14 自己表現演習④ 15 自己表現演習⑤ 16 自己表現演習⑥ 17 自己表現演習⑦ 18 自己表現演習⑧ 19 自己表現演習⑨ 20 自己表現演習⑩ 21 自己表現演習⑪ 22 自己表現演習⑫ 23 自己表現演習⑬ 24 自己表現演習⑭ 25 自己表現演習⑮ 26 自己表現演習⑯ 27 自己表現演習⑰ 28 自己表現演習⑱

	29 30	自己表現演習⑲ 自己表現演習⑳
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	サービス知識
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	接遇マナーやサービス提供者としての応対力を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と過去問題の演習により知識を習得し、接遇力を身に付ける
達成目標	患者やその家族、来客に対する臨機応変な対応ができるようになるための知識、コミュニケーション力を備える
教科書	サービス接遇検定２級公式テキスト（早稲田教育出版）、サービス接遇検定実問題集１・２級（早稲田教育出版）、オリジナル資料
特記	
授業計画	1 オリエンテーション・Ⅰサービススタッフの資質 2 Ⅱ専門知識 3 Ⅲ一般知識 4 Ⅳ対人技能（1. 人間関係／2. 接遇知識） 5 Ⅳ対人技能（3. 話し方／4. 服装） 6 Ⅴ実務技能（1. 問題処理／2.環境整備） 7 Ⅴ実務技能（3. 金品管理／4. 金品搬送／5. 社交業務） 8 過去問題演習①② 9 過去問題演習③④ 10 過去問題演習⑤⑥ 11 過去問題演習⑦⑧・記述① 12 過去問題演習⑨⑩・記述② 13 過去問題演習⑪⑫・記述③ 14 過去問題演習⑬⑭・記述④ 15 過去問題演習⑮⑯・記述⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	演習授業内におけるテストの解答状況を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	患者看護論
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	患者の理解と、看護に関する知識を深める
授業の進め方	資料による講義とグループワーク・ディスカッションを通じて、多様な患者対応について学ぶ
達成目標	患者の立場や心境を理解し、配慮や対応ができるようになる
教科書	オリジナル資料
特記	
授業計画	1 医療機関における医療秘書・クラーク・看護助手の役割 2 看護基礎知識①（特に業務で関わる職種） 3 看護基礎知識②（必要な知識） 4 患者論①（看護対象者への理解） 5 患者論②（高齢者） 6 患者論②（ケーススタディ） 7 患者介助①車いす介助実習） 8 患者介助②（Gディスカッション） 9 現代の医療① 10 現代の医療② 11 現代の医療③ 12 グループワーク・ディスカッション 13 ロールプレイング 14 レポート作成 15 確認テスト
成績評価方法 （試験実施方法）	レポートの提出状況やテスト、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業の順番は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	小児保健
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	小児に関する基礎知識習得と小児対応について学ぶ
授業の進め方	資料による講義で知識を深め、グループワーク・ディスカッションを通じて対応を考える
達成目標	小児への理解と、親を含めた対応や知識を習得する
教科書	オリジナル資料
特記	
授業計画	1 小児期の分類 2 感染症・難病 3 予防接種 4 発育発達① 5 発育発達② 6 発達障害への理解 7 小児におけるリスク・事故① 8 小児におけるリスク・事故② 9 出産・分娩 10 小児に関わる法規 11 助成制度 12 虐待の理解 13 ディスカッション 14 グループワーク 15 レポート作成
成績評価方法 （試験実施方法）	レポートの提出状況やテスト、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業の順番は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義・演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 学校と職場の違い① 2 学校と職場の違い② 3 学校と職場の違い③ 4 職場のマナー① 5 職場のマナー② 6 職場のマナー③ 7 仕事の進め方① 8 仕事の進め方② 9 仕事の進め方③ 10 報告・連絡・相談① 11 報告・連絡・相談② 12 報告・連絡・相談③ 13 挨拶① 14 挨拶② 15 挨拶③ 16 笑顔・お辞儀① 17 笑顔・お辞儀② 18 笑顔・お辞儀③ 19 敬語① 20 敬語② 21 敬語③ 22 応対の基本① 23 応対の基本② 24 応対の基本③ 25 電話応対① 26 電話応対② 27 電話応対③ 28 効果測定①

	29 30	効果測定② 効果測定③
成績評価方法 （試験実施方法）	実技・筆記による効果測定にて評価	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療ビジネスマナーⅡ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ロールプレイングで実践的な知識を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	医療現場における実践的知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 基本的な受付応対 2 保険の種類別応対 3 受付応対の実践例 4 効果測定（受付応対の基本） 5 クレームとは 6 クレーム応対の方法 7 病院内におけるクレーム応対・クレーム応対の例 8 待ち時間・説明不足に関するクレーム応対 9 診療時間に関するクレーム応対・クレーム応対練習 10 受付応対実技応用　レクチャー① 11 受付応対実技応用　レクチャー② 12 受付応対実技応用　実践練習① 13 受付応対実技応用　実践練習② 14 効果測定（受付応対の応用）① 15 効果測定（受付応対の応用）②
成績評価方法 （試験実施方法）	実技・筆記等による効果測定にて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	請求事務実践Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用的な知識の向上
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用を理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 個別問題（初診・再診） 2 個別問題（入院・食事） 3 個別問題（医学管理・投薬） 4 個別問題（注射・処置） 5 個別問題（手術・麻酔） 6 個別問題（検査・画像） 7 レセプト演習　外来① 8 レセプト演習　入院① 9 レセプト演習　外来② 10 レセプト演習　入院② 11 レセプト演習　外来③ 12 レセプト演習　入院③ 13 レセプト演習　外来④ 14 レセプト演習　入院④ 15 効果測定（外来・入院）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験、効果測定にて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	社会保険基礎論
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保険の基礎的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療現場における様々な保険知識の理解をする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 医療保険について① 2 医療保険について② 3 後期高齢者医療制度① 4 後期高齢者医療制度② 5 公費① 6 公費② 7 介護保険① 8 介護保険② 9 自動車損害賠償保障法① 10 自動車損害賠償保障法② 11 労働者災害補償保険法① 12 労働者災害補償保険法② 13 レセプト点検・総括① 14 レセプト点検・総括② 15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定、授業への参加姿勢、提出物状況等で総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医学知識
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	病院受付でも患者対応できるように医学的な基礎的知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医学の基礎を理解する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 生活習慣病・脂質異常症 2 高血圧症 3 動脈硬化症 4 狭心症・心筋梗塞 5 脳梗塞・脳出血 6 クモ膜下出血・感冒症候群 7 扁桃炎 8 肺炎・気管支炎 9 胃炎 10 胃・十二指腸潰瘍 11 胃癌 12 肝炎 13 肝硬変・肝癌 14 胆石症・膵炎 15 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験、効果測定にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身に付ける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成① 11 表、画像、図形を使った文書の作成② 12 表、画像、図形を使った文書の作成③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成⑥
成績評価方法 （試験実施方法）	科目習熟度を測定するテストにて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用してのデータ集計① 9 関数を使用してのデータ集計② 10 関数を使用してのデータ集計③ 11 関数を使用しての条件付き計算① 12 関数を使用しての条件付き計算② 13 関数を使用しての条件付き計算③ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④

	29	オブジェクトの挿入や書式設定⑤
	30	オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考	授業順序は変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel応用
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成① 4 テーブルの作成② 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療キャリアデザインⅥ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	医療事務員としての自己分析力を身に付け、表現する
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	自己分析を踏まえ、医療事務員として自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 自己分析見直し① 2 自己分析見直し② 3 自己分析見直し③ 4 自己分析見直し④ 5 自己分析見直し⑤ 6 自己ＰＲ作成① 7 自己ＰＲ作成② 8 自己ＰＲ作成③ 9 自己ＰＲ作成④ 10 自己ＰＲ作成⑤ 11 自己表現演習① 12 自己表現演習② 13 自己表現演習③ 14 自己表現演習④ 15 自己表現演習⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況等で総合的に評価する
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実践Ⅲ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	受付での患者応対マナーや対応方法（様々なタイプの患者応対）を身に付ける
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	患者だけでなく、その家族や来客に適切な対応ができるようになる
教科書	患者接遇パーフェクト・レッスン（医学通信社） 配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 贈答マナー（暑中見舞い、年賀状） 2 名刺・物の受け渡し 3 指示アドバイスを受ける、院内コミュニケーションの方法 4 電話応対（外線） 5 確認テスト 6 患者気質別の対応方法 7 患者家族への対応方法 8 入院患者・外来患者・救急患者への対応、優先順位の付け方 9 高齢者受給者証、後期高齢者医療、高齢者への対応 10 小児医療証、小児（保護者） 11 初診・再診① 12 初診・再診② 13 初診・再診③ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	実技・筆記等による効果測定により評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	診療報酬応用Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加えて必要に応じて復習を行い、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容を理解する
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬項目別応用演習① 2 診療報酬項目別応用演習② 3 診療報酬項目別応用演習③ 4 診療報酬項目別応用演習④ 5 診療報酬項目別応用演習⑤ 6 診療報酬項目別応用演習⑥ 7 診療報酬項目別応用演習⑦ 8 診療報酬項目別応用演習⑧ 9 診療報酬項目別応用演習⑨ 10 診療報酬項目別応用演習⑩ 11 診療報酬項目別応用演習⑪ 12 診療報酬項目別応用演習⑫ 13 診療報酬項目別応用演習⑬ 14 診療報酬項目別応用演習⑭ 15 診療報酬項目別応用演習⑮ 16 診療報酬項目別応用演習⑯ 17 診療報酬項目別応用演習⑰ 18 診療報酬項目別応用演習⑱ 19 診療報酬項目別応用演習⑲ 20 診療報酬項目別応用演習⑳ 21 診療報酬項目別応用演習㉑ 22 診療報酬項目別応用演習㉒ 23 診療報酬項目別応用演習㉓ 24 診療報酬項目別応用演習㉔ 25 診療報酬項目別応用演習㉕ 26 診療報酬項目別応用演習㉖ 27 診療報酬項目別応用演習㉗ 28 診療報酬項目別応用演習㉘ 29 診療報酬項目別応用演習㉙ 30 診療報酬項目別応用演習㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	診療報酬応用Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	診療報酬応用Ⅰで学んだ知識を踏まえ、診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加えて必要に応じて復習を行い、知識の定着を図る
達成目標	診療報酬における請求事務の応用的な内容の理解をより深める
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬項目別応用演習① 2 診療報酬項目別応用演習② 3 診療報酬項目別応用演習③ 4 診療報酬項目別応用演習④ 5 診療報酬項目別応用演習⑤ 6 診療報酬項目別応用演習⑥ 7 診療報酬項目別応用演習⑦ 8 診療報酬項目別応用演習⑧ 9 診療報酬項目別応用演習⑨ 10 診療報酬項目別応用演習⑩ 11 診療報酬項目別応用演習⑪ 12 診療報酬項目別応用演習⑫ 13 診療報酬項目別応用演習⑬ 14 診療報酬項目別応用演習⑭ 15 診療報酬項目別応用演習⑮ 16 診療報酬項目別応用演習⑯ 17 診療報酬項目別応用演習⑰ 18 診療報酬項目別応用演習⑱ 19 診療報酬項目別応用演習⑲ 20 診療報酬項目別応用演習⑳ 21 診療報酬項目別応用演習㉑ 22 診療報酬項目別応用演習㉒ 23 診療報酬項目別応用演習㉓ 24 診療報酬項目別応用演習㉔ 25 診療報酬項目別応用演習㉕ 26 診療報酬項目別応用演習㉖ 27 診療報酬項目別応用演習㉗ 28 診療報酬項目別応用演習㉘

	29 30	診療報酬項目別応用演習㉙ 診療報酬項目別応用演習㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	診療報酬演習
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	診療録（カルテ）から明細書（レセプト）を作成するための応用的な演習を行う
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	様々な症例（外来・入院）の診療録（カルテ）から明細書（レセプト）の作成ができる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 診療報酬演習① 2 診療報酬演習② 3 診療報酬演習③ 4 診療報酬演習④ 5 診療報酬演習⑤ 6 診療報酬演習⑥ 7 診療報酬演習⑦ 8 診療報酬演習⑧ 9 診療報酬演習⑨ 10 診療報酬演習⑩ 11 診療報酬演習⑪ 12 診療報酬演習⑫ 13 診療報酬演習⑬ 14 診療報酬演習⑭ 15 診療報酬演習⑮ 16 診療報酬演習⑯ 17 診療報酬演習⑰ 18 診療報酬演習⑱ 19 診療報酬演習⑲ 20 診療報酬演習⑳ 21 診療報酬演習㉑ 22 診療報酬演習㉒ 23 診療報酬演習㉓ 24 診療報酬演習㉔ 25 診療報酬演習㉕ 26 診療報酬演習㉖ 27 診療報酬演習㉗

	28 29 30	診療報酬演習㉘ 診療報酬演習㉙ 診療報酬演習㉚
成績評価方法 （試験実施方法）	検定形式の解答力を測定する試験にて評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実務応用Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	医療秘書の職務と役割を理解するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療秘書における応用的な知識を理解する
教科書	医療秘書（株式会社メディカルエデュケーション） 改訂　医療関連法規（建帛社）
特記	
授業計画	1　医療サービスと患者接遇（医療秘書） 2　ビジネス文書（医療秘書） 3　個人情報保護法（医療秘書） 4　敬語（医療秘書） 5　医療保険制度（関連法規） 6　医療施設関連法規（関連法規） 7　医療従事者関係各法（関連法規） 8　労災保険制度（関連法規） 9　年金・自動車損害賠償責任保険法（関連法規） 10　後期高齢者医療制度（関連法規） 11　介護保険制度（関連法規） 12　公費負担医療制度（関連法規） 13　医療秘書実務検定対策① 14　医療秘書実務検定対策② 15　医療秘書実務検定対策③
成績評価方法 （試験実施方法）	講義後のチェックテストの解答状況にて評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実務応用Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ａ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	基礎医学を理解するための応用的な知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	医療秘書における応用的な知識、特に医学知識について理解する
教科書	ＤＭＴ（株式会社 薬ゼミ情報教育センター）
特記	
授業計画	1 呼吸器系の仕組み 2 呼吸器系疾患 3 消化器系の仕組み① 4 消化器系の仕組み② 5 消化器系疾患① 6 消化器系疾患② 7 復習① 8 骨格・筋系の仕組み 9 骨格・筋系疾患 10 代謝・内分泌系の仕組み 11 代謝・内分泌系疾患 12 復習② 13 体液・血液系の仕組み 14 体液・血液系疾患 15 総復習
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	医療秘書実務応用演習
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	医療秘書実務応用Ⅰ、Ⅱで学んだ知識を踏まえ、様々な場面での知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	患者接遇・関連法規・基礎医学の知識を深める
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基礎演習解説 2 基礎演習① 3 基礎演習② 4 基礎演習③ 5 基礎演習④ 6 基礎演習⑤ 7 基礎演習復習 8 直前演習解説 9 直前演習① 10 直前演習② 11 直前演習③ 12 直前演習④ 13 直前演習⑤ 14 直前演習復習 15 最終確認問題
成績評価方法 （試験実施方法）	検定形式の解答力を測定する試験にて評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ｖ
実務家教員授業	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	保険医療機関内の組織、それぞれの役割、業務内容を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	他職種の業務を理解し、自らの業務を遂行する
教科書	実習報告書・勤務報告書
特記	総合病院などに勤務している現役医療事務員から、患者案内や受付応対、医事課業務のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	1 現場実習Ｖ（初・再診受付）① 2 現場実習Ｖ（初・再診受付）② 3 現場実習Ｖ（初・再診受付）③ 4 現場実習Ｖ（初・再診受付）④ 5 現場実習Ｖ（初・再診受付）⑤ 6 現場実習Ｖ（初・再診受付）⑥ 7 現場実習Ｖ（初・再診受付）⑦ 8 現場実習Ｖ（初・再診受付）⑧ 9 現場実習Ｖ（初・再診受付）⑨ 10 現場実習Ｖ（初・再診受付）⑩ 11 現場実習Ｖ（外来クラーク）① 12 現場実習Ｖ（外来クラーク）② 13 現場実習Ｖ（外来クラーク）③ 14 現場実習Ｖ（外来クラーク）④ 15 現場実習Ｖ（外来クラーク）⑤ 16 現場実習Ｖ（外来クラーク）⑥ 17 現場実習Ｖ（外来クラーク）⑦ 18 現場実習Ｖ（外来クラーク）⑧ 19 現場実習Ｖ（外来クラーク）⑨ 20 現場実習Ｖ（外来クラーク）⑩ 21 現場実習Ｖ（病棟クラーク）① 22 現場実習Ｖ（病棟クラーク）② 23 現場実習Ｖ（病棟クラーク）③ 24 現場実習Ｖ（病棟クラーク）④ 25 現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑤ 26 現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑥ 27 現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑦ 28 現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑧

	29 30	現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑨ 現場実習Ｖ（病棟クラーク）⑩
成績評価方法 （試験実施方法）	報告書および実習日誌の提出状況等により評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ⅵ
実務家教員授業	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	保険医療機関内での他職種との連携業務を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	医療事務職と他職種との連携業務を理解し、積極的に行動する
教科書	実習報告書・勤務報告書
特記	総合病院などに勤務している現役医療事務員から、患者案内や受付応対、医事課業務のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	1 現場実習Ⅵ（初・再診受付）① 2 現場実習Ⅵ（初・再診受付）② 3 現場実習Ⅵ（初・再診受付）③ 4 現場実習Ⅵ（初・再診受付）④ 5 現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑤ 6 現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑥ 7 現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑦ 8 現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑧ 9 現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑨ 10 現場実習Ⅵ（初・再診受付）⑩ 11 現場実習Ⅵ（入院受付）① 12 現場実習Ⅵ（入院受付）② 13 現場実習Ⅵ（入院受付）③ 14 現場実習Ⅵ（入院受付）④ 15 現場実習Ⅵ（入院受付）⑤ 16 現場実習Ⅵ（入院受付）⑥ 17 現場実習Ⅵ（入院受付）⑦ 18 現場実習Ⅵ（入院受付）⑧ 19 現場実習Ⅵ（入院受付）⑨ 20 現場実習Ⅵ（入院受付）⑩ 21 現場実習Ⅵ（地域連携室）① 22 現場実習Ⅵ（地域連携室）② 23 現場実習Ⅵ（地域連携室）③ 24 現場実習Ⅵ（地域連携室）④ 25 現場実習Ⅵ（地域連携室）⑤ 26 現場実習Ⅵ（地域連携室）⑥ 27 現場実習Ⅵ（地域連携室）⑦ 28 現場実習Ⅵ（地域連携室）⑧

	29 30	現場実習Ⅵ（地域連携室）⑨ 現場実習Ⅵ（地域連携室）⑩
成績評価方法 （試験実施方法）	報告書および実習日誌の提出状況等により評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ⅶ
実務家教員授業	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一医療人になるために基礎的な患者応対から事務的な仕事までを学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	医療事務員として、スムーズに業務を遂行する
教科書	実習報告書・勤務報告書
特記	総合病院などに勤務している現役医療事務員から、患者案内や受付応対、医事課業務のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	1 現場実習Ⅶ（患者応対）① 2 現場実習Ⅶ（患者応対）② 3 現場実習Ⅶ（患者応対）③ 4 現場実習Ⅶ（患者応対）④ 5 現場実習Ⅶ（患者応対）⑤ 6 現場実習Ⅶ（医事課業務）① 7 現場実習Ⅶ（医事課業務）② 8 現場実習Ⅶ（医事課業務）③ 9 現場実習Ⅶ（医事課業務）④ 10 現場実習Ⅶ（医事課業務）⑤ 11 現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）① 12 現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）② 13 現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）③ 14 現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）④ 15 現場実習Ⅶ（診療報酬請求、医事コンピュータ）⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	報告書および実習日誌の提出状況等により評価
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	病院実習Ⅷ
実務家教員授業	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ａ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	医療事務員としての応用的な知識も含め、全ての業務を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	患者の心情なども理解し、臨機応変に業務を遂行する
教科書	実習報告書・勤務報告書
特記	総合病院などに勤務している現役医療事務員から、患者案内や受付応対、医事課業務のポイント、注意点等を学ぶ
授業計画	1 現場実習Ⅷ（初・再診受付）① 2 現場実習Ⅷ（初・再診受付）② 3 現場実習Ⅷ（初・再診受付）③ 4 現場実習Ⅷ（初・再診受付）④ 5 現場実習Ⅷ（初・再診受付）⑤ 6 現場実習Ⅷ（医事課業務）① 7 現場実習Ⅷ（医事課業務）② 8 現場実習Ⅷ（医事課業務）③ 9 現場実習Ⅷ（医事課業務）④ 10 現場実習Ⅷ（医事課業務）⑤ 11 現場実習Ⅷ（外来クラーク）① 12 現場実習Ⅷ（外来クラーク）② 13 現場実習Ⅷ（外来クラーク）③ 14 現場実習Ⅷ（外来クラーク）④ 15 現場実習Ⅷ（外来クラーク）⑤ 16 現場実習Ⅷ（病棟クラーク）① 17 現場実習Ⅷ（病棟クラーク）② 18 現場実習Ⅷ（病棟クラーク）③ 19 現場実習Ⅷ（病棟クラーク）④ 20 現場実習Ⅷ（病棟クラーク）⑤ 21 現場実習Ⅷ（会計受付）① 22 現場実習Ⅷ（会計受付）② 23 現場実習Ⅷ（会計受付）③ 24 現場実習Ⅷ（会計受付）④ 25 現場実習Ⅷ（会計受付）⑤ 26 現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）① 27 現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）② 28 現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）③

	29	現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）④
	30	現場実習Ⅷ（診療報酬請求、医事コンピュータ）⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	報告書および実習日誌の提出状況等により評価	
備考	授業計画内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITキャリアデザインⅢ			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	演習			
授業時間	１２０時間			
授業コマ数	６０コマ			
授業概要	就職活動に関する適性試験や面接試験対策について深く学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と演習			
達成目標	希望している企業からの早期内々定獲得を目指す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	企業研究	31	IT業界時事テーマの決定１
	2	企業別志望動機作成	32	情報収集
	3	面接試験における質問研究	33	情報収集
	4	面接トレーニング	34	ディスカッション
	5	SPI対策	35	ディスカッション
	6	CAB対策	36	まとめレポート作成
	7	企業研究	37	SPI対策
	8	企業別志望動機作成	38	SPI対策
	9	面接試験における質問研究	39	CAB対策
	10	面接トレーニング	40	CAB対策
	11	SPI対策	41	IT業界時事テーマの決定２
	12	CAB対策	42	情報収集
	13	企業研究	43	情報収集
	14	企業別志望動機作成	44	ディスカッション
	15	面接試験における質問研究	45	ディスカッション
	16	面接トレーニング	46	まとめレポート作成
	17	SPI対策	47	SPI対策
	18	CAB対策	48	SPI対策
	19	企業研究	49	CAB対策
	20	企業別志望動機作成	50	CAB対策
	21	面接試験における質問研究	51	IT業界時事テーマの決定３
	22	面接トレーニング	52	情報収集
	23	SPI対策	53	情報収集
	24	CAB対策	54	ディスカッション
	25	企業研究	55	ディスカッション
	26	企業別志望動機作成	56	まとめレポート作成
	27	面接試験における質問研究	57	SPI対策
	28	SPI対策	58	SPI対策
	29	CAB対策	59	CAB対策
	30	SPI対策	60	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(模擬面接)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ITキャリアデザインⅣ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	社会人に必要なビジネスマナーについて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習
達成目標	ビジネスマナーについて理解し状況別の電話応対ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	

授業計画

1	学校と職場の違い	31	
2	職場のマナー	32	
3	仕事の進め方	33	
4	「ほう・れん・そう」とは	34	
5	挨拶の種類	35	
6	笑顔・お辞儀	36	
7	正しい敬語の使い方	37	
8	応対の基本	38	
9	電話応対のマナー	39	
10	電話の受け方	40	
11	電話のかけ方	41	
12	状況別の電話応対	42	
13	状況別の電話応対	43	
14	総合演習	44	
15	効果測定	45	
16		46	
17		47	
18		48	
19		49	
20		50	
21		51	
22		52	
23		53	
24		54	
25		55	
26		56	
27		57	
28		58	
29		59	
30		60	

成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　効果測定（電話応対）の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	C言語Ⅰ			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	実習			
授業時間	６０時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	C言語の基本構文とCUIベースプログラムの作成について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	C言語を利用したプログラムが実装できる			
教科書	基礎知識からコンピュータの本質まで C言語本格入門			
特記				
授業計画	1	C言語の特徴	31	
	2	データ識別と保持	32	
	3	データ識別と保持	33	
	4	データ加工と保存	34	
	5	データ加工と保存	35	
	6	プログラムの記述	36	
	7	プログラムの記述	37	
	8	プログラムの記述	38	
	9	プログラムの記述	39	
	10	プログラムの記述	40	
	11	プログラムを機能でまとめる方法	41	
	12	プログラムを機能でまとめる方法	42	
	13	プログラムを機能でまとめる方法	43	
	14	さまざまな前処理	44	
	15	さまざまな前処理	45	
	16	データをまとめて場所を指定する方法	46	
	17	データをまとめて場所を指定する方法	47	
	18	データをまとめて場所を指定する方法	48	
	19	データをまとめて場所を指定する方法	49	
	20	データをまとめて場所を指定する方法	50	
	21	データをまとめて場所を指定する方法	51	
	22	異なるデータ型をまとめる方法	52	
	23	異なるデータ型をまとめる方法	53	
	24	異なるデータ型をまとめる方法	54	
	25	異なるデータ型をまとめる方法	55	
	26	異なるデータ型をまとめる方法	56	
	27	異なるデータ型をまとめる方法	57	
	28	文字列の操作	58	
	29	文字列の操作	59	
	30	効果測定	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	講義			
授業時間	６０時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	IT基礎知識（テクノロジ分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と演習			
達成目標	IT基礎全般において基礎的な用語等を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ストラテジ	31	
	2	ストラテジ	32	
	3	ストラテジ	33	
	4	ストラテジ	34	
	5	ストラテジ	35	
	6	ストラテジ	36	
	7	ストラテジ	37	
	8	ストラテジ	38	
	9	ストラテジ	39	
	10	問題演習・解説	40	
	11	マネジメント	41	
	12	マネジメント	42	
	13	マネジメント	43	
	14	マネジメント	44	
	15	マネジメント	45	
	16	マネジメント	46	
	17	マネジメント	47	
	18	マネジメント	48	
	19	マネジメント	49	
	20	問題演習・解説	50	
	21	テクノロジ	51	
	22	テクノロジ	52	
	23	テクノロジ	53	
	24	テクノロジ	54	
	25	テクノロジ	55	
	26	テクノロジ	56	
	27	テクノロジ	57	
	28	テクノロジ	58	
	29	テクノロジ	59	
	30	問題演習・解説	60	
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験100%　授業内でのチェックテストで評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Webシステム開発Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	HTML＆CSS、JavaScriptの基本構文について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	JavaScriptとCSSを利用したWebページ作成ができる
教科書	これからWebをはじめる人のHTML＆CSS、JavaScriptのきほんのきほん
特記	

授業計画

1	開発環境の構築	31	
2	簡単なHTMLファイルの作成	32	
3	HTMLタグの種類と使い方	33	
4	CSSの使い方	34	
5	スタイル調整	35	
6	領域の分け方	36	
7	画像の取扱い方法	37	
8	リンクの設定	38	
9	スマートフォンデバイスへの対応方法	39	
10	親要素の指定を引き継ぐ	40	
11	CSSアニメーションの使い方	41	
12	CSSフレームワークの使用方法	42	
13	グリッドシステムとは	43	
14	フォームの作成	44	
15	送信ボタンの設置	45	
16	JavaScriptとは	46	
17	変数について	47	
18	日付の取扱い方	48	
19	要素を取得し編集する	49	
20	if構文	50	
21	イベント処理	51	
22	繰り返し処理	52	
23	Ajax通信とは	53	
24	JSONデータの使用方法	54	
25	配列	55	
26	for構文	56	
27	非同期通信とは	57	
28	jQueryとは	58	
29	Vue.jsとjQueryを組み合わせる	59	
30	効果測定	60	

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	Webシステム開発Ⅱ			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	実習			
授業時間	９０時間			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	PHPの基本構文及びデータベース接続について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	PHPとデータベースを利用したWebアプリケーション開発ができる			
教科書	確かな力が身につくPHP「超」入門			
特記				
授業計画	1	PHPとは	31	フォームの情報をテーブルに追加
	2	PHPスクリプトの動かし方	32	SQLスクリプトでデータベースを作成
	3	PHPと他の言語の違い	33	ログイン、ログアウト処理
	4	PHPツールの準備	34	入力情報の登録、更新
	5	開発環境の準備	35	ショッピングカート機能の作成
	6	PHPスクリプトの実行方法	36	セッションとは
	7	ブラウザにメッセージを表示する方法	37	お気に入り機能の作成
	8	文字化けについて	38	VirtualBoxで仮想環境を構築
	9	リクエストパラメータ	39	資産管理システムとは
	10	演算子と変数	40	bootstrapの使用方法
	11	if文	41	MySQLのインストール
	12	switch文	42	エラーメッセージの表示
	13	for文、while文	43	WordPressにおけるPHPの活用
	14	foreach文と配列	44	Web APIの使用
	15	foreach文と配列のキー	45	効果測定
	16	foreach文とチェックボックス	46	
	17	日時の取得	47	
	18	画像のランダム表示	48	
	19	入力データの形式チェック	49	
	20	パスワードのチェック	50	
	21	全角から半角への変換	51	
	22	サーバへの保存	52	
	23	ファイルのアップロード	53	
	24	データベースとは	54	
	25	データベースの作成	55	
	26	データの取得	56	
	27	データの検索	57	
	28	データの追加	58	
	29	データの削除	59	
	30	データの更新	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	簿記入門Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記の基本原理の理解する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的（基礎編） 2 簿記一巡Ⅰ（基礎編） 3 簿記一巡Ⅱ（基礎編） 4 商品売買（基礎編） 5 決算整理Ⅰ（基礎編） 6 精算表（基礎編） 7 現金および預金（基礎編） 8 手形（基礎編） 9 決算整理Ⅱ（基礎編） 10 その他の債権および債務（基礎編） 11 有形固定資産（基礎編） 12 決算整理Ⅲ（基礎編） 13 決算整理Ⅳ（基礎編） 14 株式会社の純資産（基礎編） 15 英米式決算法（基礎編）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級商業簿記基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 総論（基礎編） 2 収益と費用（基礎編） 3 棚卸資産（基礎編） 4 現金預金（基礎編） 5 債権・債務等（基礎編） 6 有価証券①（基礎編） 7 有価証券②（基礎編） 8 固定資産①（基礎編） 9 固定資産②（基礎編） 10 固定資産③（基礎編） 11 固定資産④（基礎編） 12 為替換算会計①（基礎編） 13 為替換算会計②（基礎編） 14 引当金（基礎編） 15 法人税等①（基礎編） 16 法人税等②（基礎編） 17 株式会社の純資産（基礎編） 18 企業結合（基礎編） 19 確認テスト（第1回） 20 株主資本等変動計算書（基礎編） 21 連結会計①（基礎編） 22 連結会計②（基礎編） 23 連結会計③（基礎編） 24 連結会計④（基礎編） 25 連結会計⑤（基礎編） 26 連結会計⑥（基礎編） 27 本支店会計（基礎編） 28 製造業を営む会社の決算処理

	29	伝票と帳簿（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級工業簿記基礎Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 工業簿記の基礎（基礎編） 2 個別原価計算の手続き（基礎編） 3 材料費会計（基礎編） 4 労務費会計（基礎編） 5 経費会計（基礎編） 6 製造間接費会計（基礎編） 7 製造間接費差異の原因別分析（基礎編） 8 単純個別原価計算Ⅰ（基礎編） 9 単純個別原価計算Ⅱ（基礎編） 10 工企業の財務諸表（基礎編） 11 工業簿記総まとめ①（基礎編） 12 部門別計算Ⅰ（基礎編） 13 部門別計算Ⅱ（基礎編） 14 確認テスト（第1回） 15 工業簿記総まとめ②（基礎編） 16 総合原価計算の手続き（基礎編） 17 単純総合原価計算（基礎編） 18 減損および仕損（基礎編） 19 工程別総合原価計算（基礎編） 20 組別総合原価計算（基礎編） 21 等級別総合原価計算（基礎編） 22 標準原価計算Ⅰ（基礎編） 23 標準原価計算Ⅱ（基礎編） 24 標準原価計算Ⅲ（基礎編） 25 工業簿記総まとめ③（基礎編） 26 CVP分析Ⅰ（基礎編） 27 CVP分析Ⅱ（基礎編） 28 直接原価計算（基礎編）

	29	工業簿記総まとめ④（基礎編）
	30	確認テスト（第2回）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	2級簿記総合Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記2級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商業簿記総まとめ①（基礎編） 2 商業簿記総まとめ②（基礎編） 3 商業簿記総まとめ③（基礎編） 4 商業簿記総まとめ④（基礎編） 5 商業簿記総まとめ⑤（基礎編） 6 商業簿記総まとめ⑥（基礎編） 7 商業簿記総まとめ⑦（基礎編） 8 商業簿記総まとめ⑧（基礎編） 9 商業簿記総まとめ⑨（基礎編） 10 商業簿記総まとめ⑩（基礎編） 11 商業簿記総まとめ⑪（基礎編） 12 商業簿記総まとめ⑫（基礎編） 13 商業簿記総まとめ⑬（基礎編） 14 商業簿記総まとめ⑭（基礎編） 15 商業簿記総まとめ⑮（基礎編） 16 工業簿記総まとめ①（基礎編） 17 工業簿記総まとめ②（基礎編） 18 工業簿記総まとめ③（基礎編） 19 工業簿記総まとめ④（基礎編） 20 工業簿記総まとめ⑤（基礎編） 21 工業簿記総まとめ⑥（基礎編） 22 工業簿記総まとめ⑦（基礎編） 23 工業簿記総まとめ⑧（基礎編） 24 工業簿記総まとめ⑨（基礎編） 25 工業簿記総まとめ⑩（基礎編） 26 工業簿記総まとめ⑪（基礎編） 27 工業簿記総まとめ⑫（基礎編） 28 工業簿記総まとめ⑬（基礎編）

	29	工業簿記総まとめ⑭（基礎編）
	30	工業簿記総まとめ⑮（基礎編）
	31	総合問題演習①（テスト形式_基礎編）
	32	総合問題演習②（テスト形式_基礎編）
	33	総合問題演習③（テスト形式_基礎編）
	34	総合問題演習④（テスト形式_基礎編）
	35	総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）
	36	総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）
	37	総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）
	38	総合問題演習⑧（テスト形式_基礎編）
	39	総合問題演習⑨（テスト形式_基礎編）
	40	総合問題演習⑩（テスト形式_基礎編）
	41	総合問題演習⑪（テスト形式_基礎編）
	42	総合問題演習⑫（テスト形式_基礎編）
	43	総合問題演習⑬（テスト形式_基礎編）
	44	総合問題演習⑭（テスト形式_基礎編）
	45	総合問題演習⑮（テスト形式_基礎編）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	3級商業簿記基礎
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	講義
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的 2 簿記一巡 3 株式会社の資本 4 商品売買Ⅰ（商品売買、3分法、売掛金・買掛金） 5 商品売買Ⅱ（返品、分記法） 6 商品売買Ⅲ（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券） 7 決算①（繰越商品および仕入の決算整理） 8 決算②（決算整理後残高試算表） 9 決算③（精算表） 10 現金および預金Ⅰ（現金、普通預金、当座預金） 11 現金および預金Ⅱ（複数口座の管理、当座借越） 12 手形および電子記録債権・債務 13 確認テスト（第1回） 14 商業簿記総まとめ① 15 決算④（受取手形および売掛金の決算整理） 16 有形固定資産 17 決算⑤（有形固定資産の決算整理） 18 その他の債権および債務Ⅰ（未収入金・未払金） 19 その他の債権および債務Ⅱ（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金） 20 その他の債権および債務Ⅲ（仮払金・仮受金、差入保証金） 21 その他の収益および費用 22 決算⑥（費用および収益の決算整理） 23 税金 24 決算⑦（その他の決算整理） 25 その他の勘定および訂正仕訳 26 損益計算書および貸借対照表Ⅰ 27 損益計算書および貸借対照表Ⅱ 28 確認テスト（第2回）

	29	主要簿と補助簿
	30	現金出納帳および当座預金出納帳
	31	仕入帳・売上帳
	32	商品有高帳
	33	手形記入帳
	34	試算表の作成
	35	伝票会計①
	36	伝票会計②
	37	確認テスト（第3回）
	38	商業簿記総まとめ②
	39	商業簿記総まとめ③
	40	商業簿記総まとめ④
	41	商業簿記総まとめ⑤
	42	商業簿記総まとめ⑥
	43	商業簿記総まとめ⑦
	44	商業簿記総まとめ⑧
	45	商業簿記総まとめ⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100%　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	3級簿記総合
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	演習
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
	1 商業簿記総まとめ①（基礎編） 2 商業簿記総まとめ②（基礎編） 3 商業簿記総まとめ③（基礎編） 4 商業簿記総まとめ④（基礎編） 5 商業簿記総まとめ⑤（基礎編） 6 商業簿記総まとめ⑥（基礎編） 7 商業簿記総まとめ⑦（基礎編） 8 商業簿記総まとめ⑧（基礎編） 9 商業簿記総まとめ⑨（基礎編） 10 商業簿記総まとめ⑩（基礎編） 11 商業簿記総まとめ⑪（基礎編） 12 商業簿記総まとめ⑫（基礎編） 13 商業簿記総まとめ⑬（基礎編） 14 商業簿記総まとめ⑭（基礎編） 15 商業簿記総まとめ⑮（基礎編） 16 商業簿記総まとめ①（応用編） 17 商業簿記総まとめ②（応用編） 18 商業簿記総まとめ③（応用編） 19 商業簿記総まとめ④（応用編） 20 商業簿記総まとめ⑤（応用編） 21 商業簿記総まとめ⑥（応用編） 22 商業簿記総まとめ⑦（応用編） 23 商業簿記総まとめ⑧（応用編） 24 商業簿記総まとめ⑨（応用編） 25 商業簿記総まとめ⑩（応用編） 26 商業簿記総まとめ⑪（応用編） 27 商業簿記総まとめ⑫（応用編） 28 商業簿記総まとめ⑬（応用編） 29 商業簿記総まとめ⑭（応用編）

授業計画	30	商業簿記総まとめ⑮（応用編）
	31	総合問題対策①
	32	総合問題対策②
	33	総合問題対策③
	34	総合問題対策④
	35	総合問題対策⑤
	36	総合問題対策⑥
	37	総合問題対策⑦
	38	総合問題対策⑧
	39	総合問題対策⑨
	40	総合問題対策⑩
	41	総合問題対策⑪
	42	総合問題対策⑫
	43	総合問題対策⑬
	44	総合問題対策⑭
	45	総合問題対策⑮
	46	総合問題演習①
	47	総合問題演習②
	48	総合問題演習③
	49	総合問題演習④
	50	総合問題演習⑤
	51	総合問題演習⑥
	52	総合問題演習⑦
	53	総合問題演習⑧
	54	総合問題演習⑨
	55	総合問題演習⑩
	56	総合問題演習⑪
	57	総合問題演習⑫
	58	総合問題演習⑬
	59	総合問題演習⑭
	60	総合問題演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％　基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	コンピュータリテラシー			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	実習			
授業時間	３０時間			
授業コマ数	１５コマ			
授業概要	Officeソフト（Word・Excel・PowerPoint）の操作方法について学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と実習			
達成目標	Word、Excel、PowerPointの基本的な操作方法を習得する			
教科書	情報利活用 基本演習			
特記				
授業計画	1	コンピューターの基本操作	31	
	2	一般的なビジネス文書の作成	32	
	3	シンプルなレポートや報告書の作成	33	
	4	表・画像・図形を使った文書の作成	34	
	5	効果測定	35	
	6	プレゼンテーションの企画	36	
	7	わかりやすいストーリー構成	37	
	8	センスアップするレイアウトデザイン	38	
	9	イメージを伝えるイラスト・写真活用	39	
	10	効果測定	40	
	11	表作成の基本操作	41	
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作	42	
	13	数式・関数を活用した集計表の作成	43	
	14	グラフの基本	44	
	15	効果測定	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	クラウド技術Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	クラウドの概要とAWSを利用したクラウドコンピューティングの実装方法について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装ができる
教科書	AWS Academyテキスト
特記	

授業計画

1	クラウドのコンセプト	31	
2	料金の基本	32	
3	AWS グローバルインフラストラクチャ	33	
4	AWS のサービスとサービスカテゴリ	34	
5	AWS の責任共有モデル	35	
6	クラウドのセキュリティ - AWS IAM	36	
7	ネットワークの基本,Amazon VPC	37	
8	VPC ネットワーク	38	
9	VPC セキュリティ	39	
10	VPC設定実習	40	
11	Route 53、CloudFront	41	
12	コンピューティングサービスの概要	42	
13	Amazon EC2	43	
14	Amazon EC2実習	44	
15	Amazon EC2実習	45	
16	Amazon EC2 のコスト最適化	46	
17	コンテナサービス、AWS Lambda	47	
18	AWS EBS	48	
19	AWS S3	49	
20	AWS EFS、AWS S3 Glacier	50	
21	Amazon RDS	51	
22	Amazon DynamoDB,Amazon Redshift	52	
23	クラウドアーキテクチャの設計	53	
24	Elastic Load Balancing	54	
25	Amazon EC2 Auto Scaling	55	
26	Amazon EC2 Auto Scaling実習	56	
27	総合実習	57	
28	総合実習	58	

	29 30	総合実習 効果測定	59 60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定（実習課題）の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	Python			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	実習			
授業時間	９０時間			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	Pythonの基本構文とプログラムの実装について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	Pythonを利用したCUIベースのプログラム実装ができる			
教科書	新・明解 Python入門			
特記				
授業計画	1	Pythonの特徴	31	クラス
	2	画面への表示とキーボード入力	32	クラス
	3	制御・条件分岐	33	クラス変数とクラスメソッド
	4	制御・条件分岐	34	継承
	5	制御・条件分岐	35	継承
	6	プログラムの構成要素	36	例外処理
	7	制御・繰り返し	37	例外処理
	8	制御・繰り返し	38	ファイル処理の基礎
	9	制御・繰り返し	39	ファイル処理の基礎
	10	オブジェクトと型	40	バイナリファイル
	11	オブジェクトと型	41	総合実習
	12	文字列の基礎	42	総合実習
	13	文字列の操作	43	総合実習
	14	文字列の書式化	44	総合実習
	15	効果測定	45	効果測定
	16	リスト	46	
	17	リスト	47	
	18	リスト	48	
	19	リスト	49	
	20	タプル	50	
	21	辞書	51	
	22	集合	52	
	23	関数の基礎	53	
	24	関数の基礎	54	
	25	文書化文字列とアノテーション	55	
	26	名前空間とスコープ	56	
	27	高階関数とラムダ式	57	
	28	モジュール	58	
	29	パッケージ	59	
	30	効果測定	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	クラウドコンピューティングA
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	AWSのAIサービスを利用したプログラムの実装方法について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	AWSの各種AIサービスを使用したプログラム開発ができる
教科書	AWSでつくるAIプログラミング入門
特記	

授業計画

1	環境構築	31	
2	Translate：テキスト翻訳	32	
3	Translate：テキスト翻訳	33	
4	Polly：音声合成	34	
5	Polly：音声合成	35	
6	翻訳、音声合成実習	36	
7	Transcribe：音声をテキストに変換	37	
8	Transcribe：音声をテキストに変換	38	
9	音声変換実習	39	
10	Rekognition：画像の分析	40	
11	Rekognition：画像の分析	41	
12	画像分析実習1	42	
13	Rekognition：画像の分析	43	
14	Rekognition：画像の分析	44	
15	画像分析実習2	45	
16	Textact：画像からテキストを抽出	46	
17	Textact：画像からテキストを抽出	47	
18	テキスト抽出実習	48	
19	Comprehend：文章から話題や感情を抽出	49	
20	Comprehend：文章から話題や感情を抽出	50	
21	Comprehend：文章から話題や感情を抽出	51	
22	話題、感情抽出実習１	52	
23	話題、感情抽出実習２	53	
24	開発演習	54	
25	開発演習	55	
26	開発演習	56	
27	開発演習	57	
28	開発演習	58	
29	開発演習	59	
30	効果測定	60	

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	データサイエンス基礎			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	実習			
授業時間	６０時間			
授業コマ数	３０コマ			
授業概要	統計学基礎、各種統計ライブラリについて学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	データ分析におけるデータの取り扱い方法を習得する			
教科書	Pythonによるあたらしいデータ分析の教科書			
特記				
授業計画	1	データサイエンス概要	31	
	2	Pythonの基礎	32	
	3	統計学の基礎	33	
	4	統計量や確率の基礎とPythonでの実装	34	
	5	統計量や確率の基礎とPythonでの実装	35	
	6	統計量や確率の基礎とPythonでの実装	36	
	7	Numpyを使ったデータ分析・前処理の実践	37	
	8	Numpyを使ったデータ分析・前処理の実践	38	
	9	Numpyを使ったデータ分析・前処理の実践	39	
	10	Numpyを使ったデータ分析・前処理の実践	40	
	11	Numpyを使ったデータ分析・前処理の実践	41	
	12	Numpyを使ったデータ分析・前処理の実践	42	
	13	pandasを使ったデータ分析・前処理の実践	43	
	14	pandasを使ったデータ分析・前処理の実践	44	
	15	pandasを使ったデータ分析・前処理の実践	45	
	16	pandasを使ったデータ分析・前処理の実践	46	
	17	pandasを使ったデータ分析・前処理の実践	47	
	18	pandasを使ったデータ分析・前処理の実践	48	
	19	Matplotを使ったデータ可視化	49	
	20	Matplotを使ったデータ可視化	50	
	21	Matplotを使ったデータ可視化	51	
	22	Matplotを使ったデータ可視化	52	
	23	Matplotを使ったデータ可視化	53	
	24	Matplotを使ったデータ可視化	54	
	25	ライブラリを使用したデータ前処理の実践	55	
	26	ライブラリを使用したデータ前処理の実践	56	
	27	ライブラリを使用したデータ前処理の実践	57	
	28	ライブラリを使用したデータ前処理の実践	58	
	29	ライブラリを使用したデータ前処理の実践	59	
	30	効果測定	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Java
実務家教員授業	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	Javaの基本構文とオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	Javaを利用したオブジェクト指向のプログラミング開発ができる
教科書	新・明解 Java入門 第２版
特記	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう。

授業計画				
	1	Javaの特徴・学習のための準備	31	文字と文字列
	2	変数	32	例外処理
	3	制御構文・分岐、if文	33	総合実習　基礎
	4	制御構文・分岐、switch文 キーワード・識別子・演算子	34	総合実習　基本的なプログラムの構造
	5	制御構文・繰り返し do-while文・while文	35	総合実習　コンピュータで扱うデータ表現
	6	制御構文・繰り返し for文	36	総合実習　変数／定数と型
	7	基本型と演算	37	総合実習　演算と演算子
	8	配列	38	総合実習　配列の宣言・生成
	9	配列	39	総合実習　制御文
	10	コレクション	40	総合実習　クラスとオブジェクト
	11	制御構文・配列の実習	41	総合実習　クラスの関係
	12	効果測定	42	総合実習　クラスの継承
	13	メソッド	43	総合実習　例外処理
	14	メソッド	44	総合実習
	15	クラスの基本	45	効果測定
	16	クラスの基本	46	
	17	日付クラスの作成	47	
	18	日付クラスの作成	48	
	19	クラス変数とクラスメソッド	49	
	20	クラス変数とクラスメソッド	50	
	21	パッケージ	51	
	22	クラスの派生と多相性	52	
	23	クラスの派生と多相性	53	
	24	クラスの派生と多相性	54	
	25	抽象クラス	55	
	26	抽象クラス	56	
	27	インタフェース	57	
	28	インタフェース	58	

	29 30	クラス・抽象クラス・インタフェースの実習 効果測定	59 60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	サーバサイドフレームワーク			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	実習			
授業時間	９０時間			
授業コマ数	４５コマ			
授業概要	Djangoを使用したサーバサイドアプリケーションの仕組みについて学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	Djangoを使用したWebアプリケーション開発ができる			
教科書	動かして学ぶ！Python Django開発入門			
特記				
授業計画	1	Webアプリとは	31	モデルの作成
	2	Djangoの概要、全体像	32	モデルの作成
	3	Djangoプロジェクトの構造	33	Djangoアプリケーションにページを追加
	4	ルーティング、ビューの概要	34	Djangoアプリケーションにページを追加
	5	フォーム、モデル、テンプレートの概要	35	Djangoアプリケーションにページを追加
	6	Webアプリ開発環境の構築	36	Djangoアプリケーションにページを追加
	7	Webアプリ開発環境の構築	37	Djangoアプリケーションとデータベースの連携
	8	単一ページのDjangoアプリケーションを作成	38	Djangoアプリケーションとデータベースの連携
	9	単一ページのDjangoアプリケーションを作成	39	Djangoアプリケーションとデータベースの連携
	10	単一ページのDjangoアプリケーションを作成	40	Djangoアプリケーションとデータベースの連携
	11	単一ページのDjangoアプリケーションを作成	41	Djangoアプリケーションとデータベースの連携
	12	バージョン管理システムの構築	42	Djangoアプリケーションとデータベースの連携
	13	Bootstrapの適用	43	エラーページの作成
	14	ベーステンプレートの作成	44	バックアップ処理の作成
	15	フォーム画面の作成	45	効果測定
	16	フォーム画面の作成	46	
	17	フォーム画面の作成	47	
	18	メール送信機能の作成	48	
	19	メール送信機能の作成	49	
	20	課題演習	50	
	21	課題演習	51	
	22	課題演習	52	
	23	課題演習	53	
	24	課題演習	54	
	25	認証用アプリケーションの作成	55	
	26	ユーザモデルの定義	56	
	27	Django認証機能の作成	57	
	28	Django認証機能の作成	58	
	29	Django認証機能のテンプレートの改変	59	
	30	Django認証機能のテンプレートの改変	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	AIプログラミング
実務家教員授業	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｂ
授業方法	実習
授業時間	９０時間
授業コマ数	４５コマ
授業概要	機械学習フレームワークを利用した機械学習プログラムについて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習
達成目標	前処理の実装、scikit-learnを使用した機械学習のモデル作成ができる
教科書	スッキリわかるPythonによる機械学習入門
特記	

授業計画

1	機械学習概要	31	予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証
2	基礎統計学	32	予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証
3	機械学習によるデータ分析の流れ	33	予測性能評価：適合率、再現率、f1-score、k分割交差検証
4	Pythonによる機械学習プログラミングの準備	34	教師なし学習：次元削減
5	pandasの基本	35	教師なし学習：次元削減
6	scikit-learnの基本	36	教師なし学習：次元削減
7	教師あり学習：分類	37	実習(教師あり学習：分類、アダブースト)
8	教師あり学習：分類	38	実習(教師あり学習：分類、アダブースト)
9	教師あり学習：分類	39	実習(教師あり学習：分類、アダブースト)
10	教師あり学習：回帰	40	実習(教師あり学習：分類、アダブースト)
11	教師あり学習：回帰	41	実習(教師あり学習：回帰、k分割交差検証)
12	教師あり学習：回帰	42	実習(教師あり学習：回帰、k分割交差検証)
13	分類におけるチューニング	43	実習(教師あり学習：回帰、k分割交差検証)
14	分類におけるチューニング	44	実習(教師あり学習：回帰、k分割交差検証)
15	分類におけるチューニング	45	効果測定
16	回帰におけるチューニング	46	
17	回帰におけるチューニング	47	
18	回帰におけるチューニング	48	
19	実習(教師あり学習：分類)	49	
20	実習(教師あり学習：回帰)	50	
21	効果測定	51	
22	教師あり学習の総合演習	52	
23	教師あり学習の総合演習	53	
24	教師あり学習の総合演習	54	
25	実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去	55	
26	実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去	56	
27	実践的前処理：データ結合、データ補完、外れ値除去	57	
28	ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダブースト	58	
29	ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダブースト	59	
30	ロジスティック回帰、ランダムフォレスト、アダブースト	60	

成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	Linux			
実務家教員授業				
学部・学科	ビジネス学科			
履修年次	１年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択Ｂ			
授業方法	実習			
授業時間	３０時間			
授業コマ数	１５コマ			
授業概要	LinuxOSの概要と基本操作について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	LinuxOSの基本的な操作を習得する			
教科書	Linux標準教科書(Ver.3.0.3)			
特記				
授業計画	1	Linuxのインストール	31	
	2	Linuxの概要	32	
	3	基本的なコマンド	33	
	4	基本的なコマンド	34	
	5	正規表現とパイプ	35	
	6	コマンド演習	36	
	7	基本的なコマンド2	37	
	8	基本的なコマンド2	38	
	9	viエディタ	39	
	10	エディタ演習	40	
	11	管理者の仕事	41	
	12	ユーザ権限とアクセス権	42	
	13	アクセス権演習	43	
	14	総合演習	44	
	15	効果測定	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	レクレーション概論
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	レクリエーションの意義と歴史・使命・仕組み等、制度について理解を深める。また、現代社会の中で、個人のライフスタイルや家族、地域社会の置かれている状況、少子高齢社会の課題を確認し、レクリエーション支援が必要とされる（活用ができる）具体的な場面について理解を深める。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。
達成目標	レクリエーションの基礎概論を習得し、子どもの発達に応じた事業計画・展開方法を習得する。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 レクリエーションの意義 2 レクリエーション運動を支える制度 インストラクターの役割 3 ライフスタイルとレクリエーション 4 少子化の課題・地域とレクリエーション 5 レクリエーション事業について 6 ホスピタリティーとは 7 アイスブレーキングの基本技術 8 復習（意義、役割）事業計画、コミュニケーション 9 レクリエーションの基礎 10 レクリエーション支援論 11 レクリエーション事業論 12 復習（基礎・支援論・事業論）① 13 復習（基礎・支援論・事業論）② 14 復習（基礎・支援論・事業論）③ 15 復習（基礎・支援論・事業論）④
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	レクレーション指導法
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	レクリエーションについて理解を深め、計画・実施・評価の方法、安全管理について学習し、演習を通して、そのあり方や、主体的に活動を起こす具体的な展開方法などを身につける。また、レクリエーション財（音楽、遊び、環境、様々な道具等）への理解を深め、レクリエーションの指導方法を習得する。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、、確実な知識とスキルの定着を図る。
達成目標	レクリエーション計画案の立案及び実践により、レクリエーション技術を習得する。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 アイスブレーキング体験 2 レクリエーション体験（子どもの遊び） 3 レクリエーション実技①（グループ） 4 レクリエーション実技②（グループ） 5 レクリエーション実技③（グループ） 6 計画案の作成① 7 計画案の作成② 8 計画案の作成③ 9 計画案に基づいた練習と修正① 10 計画案に基づいた練習と修正② 11 計画案に基づいた練習と修正③ 12 グループワーク 13 計画案に基づいた練習と修正④ 14 計画案に基づいた練習と修正⑤ 15 計画案に基づいた練習と修正⑥ 16 実技トレーニング及びチェック① 17 実技トレーニング及びチェック② 18 実技トレーニング及びチェック③ 19 実技トレーニング及びチェック④ 20 レクリエーション実践① 21 レクリエーション実践② 22 レクリエーション実践③ 23 レクリエーション体験（ウォークラリー）①

	24	レクリエーション体験（ウォークラリー）②
	25	ウォークラリー　コース作成　視察
	26	ウォークラリー　ポイント決定
	27	ウォークラリー　コース決定
	28	ウォークラリー　計画案完成
	29	ウォークラリー　計画案修正
	30	ウォークラリー　計画案に基づく体験
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	音楽とリズム
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	楽譜の読み方、音程、音階、和音、リズムなどの学びを活用し、音楽による基礎的な表現力を身につける。また、童謡や手遊びを題材に入れ、歌唱教育の技術を習得すると同時に身近な自然やものの音や音色について学ぶ。
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る。
達成目標	音楽を通して子どもの身体表現、音楽表現等に関する知識・技術を習得する。
教科書	音楽（声楽教本） ピアノ教本
特記	
授業計画	1　子どもの遊びと音楽との関係 2　子どもの遊びの展開①（子どもを動かす歌） 3　子どもの遊びの展開②（弾き語り・和音遊び） 4　音楽表現①（弾き語り・リズム遊び） 5　音楽表現②（弾き語り・子どもを動かす歌） 6　音楽表現③（弾き語り・和音遊び） 7　音楽実践・発表（子どもを動かす歌） 8　リズム遊戯の環境構成 9　季節の歌に合わせたリズム遊戯① 10　季節の歌に合わせたリズム遊戯② 11　季節の歌に合わせたリズム遊戯③ 12　音楽実践・発表（弾き語り） 13　音楽実践・発表（和音遊び） 14　音楽実践・発表（季節の歌に合わせたリズム遊戯） 15　復習（弾き語り・リズム遊び・遊戯）
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育ボランティア実習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義・演習・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保育園や児童福祉施設でのボランティアを通じて、多岐にわたる保育士の仕事を理解し、保育現場の高度な専門知識や専門技術に触れることにより、基礎学習の重要性を理解するとともに、社会人として組織に参加、貢献する経験を積み、保育士の仕事の理解を深める。
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ。
達成目標	講義で学んだ知識、演習で身に付けた技術を現場で発揮することが出来る。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1　1．ボランティア実習オリエンテーション 2　ボランティア実習の目的、参加への心構え 3　ボランティア実習の概要 4　ボランティア実習までの準備事項の確認 5　2．ボランティア実習 6　（1）観察 7　保育所の1日の流れの理解 8　子どもの発達過程の理解 9　保育者と子どものかかわり方の理解①（基本的な関わり方） 10　保育職の業務の理解①（基本的業務の理解） 11　職場の理解 12　(2)体験 13　子どもへの援助①（こどもと一緒に遊びに参加） 14　保育専門職との交流①（社会人として基本的なコミュニケーションをとる） 15　3．振り返り 発表会形式により実施
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育ボランティア実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義・演習・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保育園や児童福祉施設で実社会を経験しながら、自分自身の保育者としての適性及び課題を明確にするとともに、社会人としての行動や心構えを体得する。又、保育現場の仕事を通じて自立心と向上心を併せ持った総合的な人間力を高める。
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ。
達成目標	講義で学んだ知識、演習で身に付けた技術を現場で発揮することが出来る。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1　1．ボランティア実習オリエンテーション 2　ボランティア実習の目的、参加への心構え 3　ボランティア実習の概要 4　ボランティア実習までの準備事項の確認 5　2．ボランティア実習 6　（1）観察 7　環境設定（安全面、健康面、衛生面）についての理解 8　保育技術の理解（手遊び、絵本の読み聞かせ、ピアノの効率的使用法） 9　保育者と子どものかかわり方の理解②（年齢別対応方法、乳児とのかかわり方） 10　（2）体験 11　子どもへの援助②（こどもと一緒に遊びに参加し、年齢別の興味、関心事を知る） 12　保育専門職との交流②（職業の魅力、やりがいについて話を聞く） 13　（3）その他 14　机上の学習だけではわからない保育専門職としての業務を観察・体験する 15　3．振り返り 発表会形式により実施
成績評価方法 （試験実施方法）	出席とレポートにより評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育ボランティア実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義・演習・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	多くの保育現場を体験することにより、保育の多様性を理解し、自らの保育観を構築する。又、今までのボランティアや保育実習の経験を基に、現場での業務範囲を広げ、保育の現状を理解し、多面的に保育現場を考察する。
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ.
達成目標	保育実習Ⅰ①の評価において、課題とされる点を認識し、その課題を意識しつつ行動できる。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1　1．ボランティア実習オリエンテーション 2　ボランティア実習の目的、参加への心構え 3　ボランティア実習の概要 4　ボランティア実習までの準備事項の確認 5　2．ボランティア実習 6　(1)観察 7　地域子育て支援活動に関する取り組みの理解 8　延長保育など子育て支援事業に関する取り組みの理解 9　食育についての取り組みの理解 10　(2)体験 11　子どもへの援助③（手遊び、絵本の読み聞かせ、素話など設定保育の一部を経験する） 12　保育専門職との交流③（現状の保育の課題、改善策について聞く） 13　(3)保育事務業務 14　指導計画や日常事務の見学 15　3．振り返り 発表会形式により実施
成績評価方法 (試験実施方法)	出席とレポートにより評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育ボランティア実習Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義・演習・実習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	ボランティア実習Ⅰ～Ⅲの経験を基に、継続的に乳幼児と関わりながら自ら課題を設定し、その課題に合わせた観察や考察を行い、保育士としての観察力や考察力を高める。又、保育現場で自ら進んで行動できるように、さらに行動力を身に付ける。
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ.
達成目標	即戦力となる新人保育士と同等の行動ができる。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1　1．ボランティア実習オリエンテーション 2　ボランティア実習の目的、参加への心構え 3　ボランティア実習の概要 4　ボランティア実習までの準備事項の確認 5　2．ボランティア実習 6　(1)体験 7　ボランティア実習Ⅰ～Ⅲすべての内容 8　(2)観察・考察 9　テーマを決定 10　園に相談の上、テーマを修正 11　園に相談の上、テーマに合致する乳幼児を決定 12　テーマに合わせ乳幼児を観察、考察を繰り返す 13　(3)その他 14　乳幼児の現状、障害児の受け入れについての理解（自閉症スペクトラム、ダウン症、発達障害など、障害児についての現状を知る） 15　3．振り返り 発表会形式により実施
成績評価方法 （試験実施方法）	出席とレポートにより評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	乳幼児心理学
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳幼児がこの世界をどのように理解しようとしているのか、又その理解の仕方の変化や発達について学習する。又、子どもと大人の視点の違いを理解し、保育者としての適切な子どもへの関わり方を学習する。
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と志向の定着を図る。
達成目標	乳幼児期のこどもの発達の特徴を理解し、保育者としての専門的かつ適切な子どもへの関わり方を習得する。
教科書	乳幼児心理学
特記	
授業計画	1 新生児と原始反射 2 五感について 3 乳幼児期の発達の特徴とその意味① 4 乳幼児期の発達の特徴とその意味② 5 愛着と親子関係 6 保育者と子どものロールプレイ 7 子どもの「模倣」について 8 感情と動機づけ 9 子どもと大人の記憶の違いと保育 10 ハントの発達理論と教育倫理 11 ピアジェの発達理論① 12 ピアジェの発達理論② 13 自己の発達 14 社会性と仲間関係 15 遊びの重要性
成績評価方法 （試験実施方法）	出席とレポート作成により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	教育方法論Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳幼児期の育ちや生活の特徴を知り、発達段階に応じた子どもへの関わり方についての理解を深めるとともに、乳幼児期の教育の方法に関する基本原理を学ぶ。また、子どもにとっての遊びの重要性を理解したうえで、遊びを中心とした教育実践を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。
達成目標	教育方法学に関する基礎的な知識を修得することを通して、より豊かな教育観をもつことができる。その基礎的な知識を教育実践と関連付けて説明することができる。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 幼児期にふさわしい教育の方法 2 環境を通しての保育、遊びを通しての保育 3 幼児の主体的な生活を基盤とする保育 4 保育者の様々な役割 5 遊びの中の学びをはぐくむ保育① 6 遊びの中の学びをはぐくむ保育② 7 遊びの中の学びをはぐくむ保育③ 8 様々な保育形態とその方法① 9 様々な保育形態とその方法② 10 保育における評価① 11 保育における評価② 12 小学校との連携・接続 13 小学校教育における総合的な学習と遊びの意義 14 小学校教育における教科と遊び① 15 小学校教育における教科と遊び②
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	教育方法論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳幼児期の教育の基本原理を踏まえ、保育現場におけるカリキュラム構造を理解しつつ、その場に応じた教育方法を考える力を身につける。又、保育者の構成する教育内容・方法が子どもに影響を与えることを理解し、具体的な場面として創造できるようになるとともに、実践力の向上を目指す。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。
達成目標	教育方法論Ⅰで得た基礎的な知識を基に、さらに幅広い専門知識を習得し、具体的な教育実践を行うことができる。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 「教えること」と「学ぶこと」 2 幼児期の学びの基盤 3 保育者間における子ども理解のずれの修正 4 幼保小の円滑な連携 5 家庭との連携 6 地域との連携 7 保育におけるカウンセリングマインド 8 基本的な生活習慣を育む支援する 9 健やかな育ちのための支援 10 園生活に困難を抱える子どもの支援① 11 園生活に困難を抱える子どもの支援② 12 園生活に困難を抱える子どもの支援③ 13 事例研究①グループディスカッション 14 事例研究②グループディスカッション 15 事例研究③グループディスカッション
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育方法論
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	保育所保育指針に示される「保育の方法」の基本理念を踏まえつつ、保育所における具体的な実践例の中から学びを深める。理論と実践との接点や「乳幼児の発達」「環境による保育」という観点から、演習を通して保育方法論を基に保育士に必要な知識・技能・態度を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。
達成目標	様々な場面に応じて適切な保育方法がとれるよう知識・技術を習得する。
教科書	幼児教育の方法
特記	
授業計画	1 子ども理解と保育のつながり 2 保育の活動内容① 3 保育の活動内容② 4 保育の活動内容③ 5 場面を想定した保育の活動内容の実践① 6 場面を想定して保育の活動内容の実践② 7 場面を想定した保育の活動内容の実践③ 8 保育の活動内容の改善 9 指導案の作成① 10 指導案の作成② 11 指導案の作成③ 12 指導案の作成④ 13 指導案の作成⑤ 14 指導案の作成⑥ 15 指導案の作成⑦ 16 指導案に基づく実技チェック① 17 指導案に基づく実技チェック② 18 指導案に基づく実技チェック③ 19 指導案に基づく実技チェック④ 20 指導案に基づく実技チェック⑤ 21 指導案に基づく実技チェック⑥ 22 指導案に基づく実技チェック⑦ 23 指導案に基づく実技チェック⑧ 24 指導案に基づく実技チェック⑨ 25 指導案に基づく実技チェック⑩

	26	指導案に基づく実技チェック⑪
	27	指導案に基づく実技チェック⑫
	28	指導案に基づく実技チェック⑬
	29	指導案に基づく実技チェック⑭
	30	指導案に基づく実技チェック⑮
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	小児体育
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	「楽しむ」を前提とした体育について、各種目についてのルールを理解し実践する。それらを発達段階に沿った「楽しい運動遊び」への変換方法を考察し体験する。
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。
達成目標	保育者として、その子どもの年齢、発達状況に応じた適切な運動・遊びを理解する。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 現在の子どもを取り巻く運動環境 2 運動と健康のつながり 3 各年齢に適した運動と効果① 4 各年齢に適した運動と効果② 5 各年齢に適した運動と効果③ 6 ボールを用いた運動遊び 7 フラフープを用いた運動遊び 8 大縄を用いた運動遊び 9 マット運動 10 チームスポーツ 11 指導案の作成① 12 指導案の作成② 13 指導案に基づく実技チェック① 14 指導案に基づく実技チェック② 15 指導案に基づく実技チェック③
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	音楽表現Ⅰ
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目）
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	音楽やリズムを身体を通して感じ、考え、音楽表現に必要な技術とその方法論の基礎を学ぶ。また、保育の現場で活用する手遊びや歌遊び、身体創作表現など具体的な教材を通して、表現意欲を養い、創造性を豊かに実践力のある保育者としての資質能力を形成する。
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。
達成目標	ピアノを使ったリズム遊びを習得し、保育現場で実践できる。
教科書	音楽（理論） レポート設題集
特記	音楽教室または高校等での指導経験のある講師を招き、基礎から応用まで実践的な指導を行う。
授業計画	1 基礎リズムのリズム打ちとステップ① 2 基礎リズムのリズム打ちとステップ② 3 基礎リズム、音への即時反応① 4 基礎リズム、音への即時反応② 5 模倣活動を通して音の強弱を意識する① 6 模倣活動を通して音の強弱を意識する② 7 リズム、フレーズを認識する① 8 リズム、フレーズを認識する② 9 イメージによる身体表現 10 教材研究①（手遊び歌、童謡、教具） 11 教材研究②（指導案の作成） 12 教材研究③（使用教材作成） 13 課題研究① 14 課題研究② 15 課題発表
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	こども学概論
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	現代社会の中で、子どもに関わる具体的事例をもとに多角的な視点により「子ども」について学習する。子どもを取り巻く社会（家庭や保育所、学校、地域、制度など）で起こる様々な事象から広く子どもの理解を深める。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る.
達成目標	こどもの世界を理解し、子どもの発達状況に応じた援助の手法を習得する。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 子ども学とは 2 子どもの発達①（乳児期） 3 子どもの発達②（幼児期） 4 子どもの発達③（学童期） 5 子どもの世界の理解① 6 子どもの世界の理解② 7 事例から見る子どもが抱える問題① 8 事例から見る子どもが抱える問題② 9 事例から見る子どもが抱える問題③ 10 事例から見る子どもが抱える問題④ 11 事例から見る子どもが抱える問題⑤ 12 子どもが抱える問題に対する対応方法① 13 子どもが抱える問題に対する対応方法② 14 子どもの悩みに関する対応方法① 15 子どもの悩みに関する対応方法②
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	卒業研究
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	2年間の集大成として、各人がそれぞれにテーマを掲げ、自己の研究課題に取り組み、研究発表により成果を残す。
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ。
達成目標	自身の設定した研究課題に取り組み、発表を行う。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 卒業研究オリエンテーション 2 課題意識の確認と研究の進め方 3 個人別研究課題の設定 4 研究計画作成 5 調査・研究/個別指導① 6 調査・研究/個別指導② 7 調査・研究/個別指導③ 8 調査・研究/個別指導④ 9 研究経過中間報告会 10 研究計画検討及び修正 11 論文作成と進捗状況報告と修正① 12 論文作成と進捗状況報告と修正② 13 論文作成と進捗状況報告と修正③ 14 研究課題発表会① 15 研究課題発表会②
成績評価方法 (試験実施方法)	レポートと発表内容により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育実技Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳幼児期にふさわしい保育方法・技術の基本を学ぶとともに、その過程の中で幼児理解を深めながら保育者としての姿勢や態度を身に付け、乳幼児に関わる保育者としての自覚が持てるようにする。又、保育現場で実践する際の準備や配慮を知り、保育実習にも役立つ学習をする。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る。
達成目標	保育技術の基本を理解し、保育者としての自覚を持つ。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 保育技術の基本① 2 保育技術の基本② 3 保育技術の基本② 4 季節の制作物の立案と作成① 5 季節の制作物の立案と作成② 6 季節の制作物の立案と作成③ 7 季節の制作物の立案と作成④ 8 季節の制作物の立案と作成⑤ 9 季節の制作物の立案と作成⑥ 10 季節の制作物の立案と作成⑦ 11 季節の制作物の立案と作成⑧ 12 季節の制作物の立案と作成⑨ 13 季節の制作物の立案と作成⑩ 14 季節の制作物の立案と作成⑪ 15 季節の制作物の立案と作成⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と課題提出により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育実技Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	乳幼児の発達段階に沿った興味・関心を引き出せるような活動方法を学び、様々な保育技術を習得する。また、保育の立案から実践に至る演習過程を通して、保育構成と方法、必要な技術を学び、指導案作成から実践まで現場で生かされる実践力を身に付ける。
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。
達成目標	乳幼児期のこども理解に基づいた部分指導案を立案し、実践できるようになる。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 部分指導案の作成と実践のポイント 2 活動別部分案① 3 活動別部分案② 4 活動別部分案③ 5 活動別部分案④ 6 年齢別部分指導案の作成と準備① 7 年齢別部分指導案を基にした模擬保育① 8 年齢別部分指導案の作成と準備② 9 年齢別部分指導案を基にした模擬保育② 10 年齢別部分指導案の作成と準備③ 11 年齢別部分指導案を基にした模擬保育③ 12 年齢別部分指導案の作成と準備④ 13 年齢別部分指導案を基にした模擬保育④ 14 年齢別部分指導案の作成と準備⑤ 15 年齢別部分指導案を基にした模擬保育⑤
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と課題提出・実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	保育実技Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	保育者として必要な心構えや専門性を高める。保育現場の保育活動が豊かに展開できるようにするための技術を学習し、具体的な実践力を発揮できるようにするとともに、各教科で培った知識を総合的に活用し、保育現場をイメージしながら指導技術を習得する。
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。
達成目標	乳幼児期の子ども理解に基いた全日指導案を立案し、実践できるようになる。より高度な季節の制作物作成できるようになる。
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 全日指導案の作成と実践のポイント 2 年齢別全日指導案の作成と準備① 3 年齢別全日指導案を基にした模擬保育① 4 異年齢保育の全日指導案の作成と準備① 5 異年齢保育の全日指導案を基にした模擬保育① 6 障害を持つ子どもの遊びの支援計画 7 季節の制作物の立案と作成⑬ 8 季節の制作物の立案と作成⑭ 9 季節の制作物の立案と作成⑮ 10 季節の制作物の立案と作成⑯ 11 季節の制作物の立案と作成⑰ 12 季節の制作物の立案と作成⑱ 13 季節の制作物の立案と作成⑲ 14 季節の制作物の立案と作成⑳ 15 季節の制作物の立案と作成㉑
成績評価方法 (試験実施方法)	出席と課題提出・実技試験により評価する。60点以上を合格とする。
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	保育実技Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	ビジネス学科	
履修年次	１年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ｃ	
授業方法	演習	
授業時間	３０時間	
授業コマ数	１５コマ	
授業概要	卒業後の就職を意識して保育の仕事内容についての理解を深め、今後の保育現場で役立てることのできる質の高い技術を積極的に探究し、習得するとともに、保育現場で必要な業務のノウハウを知り習得する。	
授業の進め方	演習	
達成目標	行事の企画から準備・進行ができるようになる。	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1	行事の計画と準備①
	2	行事の計画と準備②
	3	行事の計画と準備③
	4	行事の計画と準備④
	5	行事の計画と準備⑤
	6	行事の計画と準備⑥
	7	行事の計画と準備⑦
	8	行事の計画と準備⑧
	9	行事の計画と準備⑨
	10	行事の計画と準備⑩
	11	行事の計画と準備⑪
	12	行事の計画と準備⑫
	13	行事の計画と準備⑬
	14	行事の計画と準備⑭
	15	園行事の実践
成績評価方法 （試験実施方法）	出席と課題提出により評価する。60点以上を合格とする。	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	幼稚園実習
実務家教員	○
学部・学科	ビジネス学科
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ｃ
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目））
授業時間	８０時間
授業コマ数	４０コマ
授業概要	今までの乳幼児に関する知識・技能を活用しながら、実践活動を通して幼児教育の現場での指導力を身につけることを目標とし、認定こども園を含む幼稚園での業務内容や幼稚園の機能、保育園との違いについて理解する。また、幼稚園での活動を振り返り、観察記録を作成する。
授業の進め方	有識者の指導を基に、より実践的な知識を学ぶ.
達成目標	幼稚園における教育内容や機能及び幼稚園教諭の職務や役割について体験を通して理解する。又、1日の教育活動を振り返り、部分実習又は、全日実習の指導計画を立案することが出来る。
教科書	オリジナル教材
特記	各企業に依頼して実施。各企業と事前確認を行い明確な課題を設けながら実習を行う。
授業計画	1 実習へ向けての課題設定 2 実習生としての心構え 3 実習におけるプライバシー保護と守秘義務 4 実習マナー① 5 実習計画について 6 実習計画に基づく保育実践 7 実習日誌の記録の取り方① 8 実習日誌の記録の取り方② 9 実習日誌の記録の取り方③ 10 実習日誌の記録の取り方④ 11 1. 幼稚園の役割と機能 12 （1） 幼稚園の一日の生活・活動の流れと活動内容の概要 13 （2） 幼稚園教育要領の理解と保育の展開 14 2. 園児理解 15 （1） 園児の観察とその記録による理解 16 （2） 幼児の発達過程の理解 17 （3） 遊び・生活場面での園児の行動 18 （4） 園児の行動に対する幼稚園教諭の対応 19 3. 幼稚園と家庭及び地域社会との連携 20 （1） 家庭との連携の内容と方法の理解 21 （2） 地域社会との連携の内容と方法の理解 22 4. 幼稚園の保育内容・保育環境 23 （1） 保育の計画に基づく保育内容 24 （2） 幼児の発達過程に応じた保育内容 25 （3） 幼児の生活や遊びと環境構成

	26	（4）幼児の健康と安全
	27	5.幼稚園教諭としての保育技能の習得及び態度の養成
	28	（1）保育技術を実践の場においてさらなる向上を目指す
	29	（2）教材の意義の理解と作成
	30	6.保育におけるPDCAサイクル
	31	（1）観察・参加実習における記録の意義と理解
	32	（2）教育過程に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価とその過程の理解
	33	（3）作成した部分実習の指導計画に基づく保育実践と評価
	34	（4）作成した全日実習の指導計画に基づく保育実践と評価
	35	7.幼稚園教諭の業務と職業倫理
	36	（1）幼稚園教諭の業務内容
	37	（2）職員間の役割分担や連携
	38	（3）幼稚園教諭の役割と職業倫理
	39	8.自己の課題の明確化
	40	（1）実習全般を振り返り自己の課題が鮮明にする
成績評価方法 (試験実施方法)	実習内容・実習簿評価により評価する。６０点以上を合格とする。	
備考		